授業	7112		選択:		2単位30	時間	担当教員名:		
科目名		学論	运八 · 全学科専攻	51~4年			担当软页日. 大西 仁		
	(Natural a			XI I +	コード:レ	ABTTU	(非常勤講師室)		
		Sciences)							
(DP)		わたる探究心	と自己研鑽	, <u>3</u>	繊維との協	働			
	の到達目標及								
							して、マスコミ報道される科		
		みできるよう	こなること、	疑問に思	ったことを	自ら調	「べる習慣を身に着けることを		
目標とす	する。								
र मया आह	~~~~~)								
	の概要〕	ᡔᢧ᠋			告ょている	· エッティナナ			
							統や社会問題に関する話題に		
				。また、	世回の授業	いよし	めに一般向けに報道されてい		
		の成果について		ь — 2°		604V			
		学、科学技術、	王可、垠功	乳 ロホッ	ト、情報、	郑能			
〔授業詞		_							
回数			•			内	容		
第1回	4/12	自然科学とは			なよび履修	登 方法()	り記り		
第2回	4/19	生命と環境1		生物間相					
第3回	4/26	生命と環境2)化学的情報	牧理1言			
第4回	5/10	生命と環境3)水平伝播	·			
第5回	5/17	生命と環境4			9と環境対策 -	東 技術			
第6回	5/24	生命と環境5		再生医療					
第7回	5/31	ロボット1		ロボット					
第8回	6/7	ロボット2		アクチョ					
第9回	6/14	ロボット3		センサー					
第10		ロボット4		<u> </u>	イクロマシ	シン			
第11		ロボット5		制御					
第12		知能と情報1			とデータ				
第13		知能と情報2		<u></u>	ミとデータ				
第14		知能と情報3			とデータ!	ナイエン	ノス 3		
第15[回 7/26	諸々の話題		諸々の話	遐				
履修条件	4	指定なし							
予習・復習 復習:講義で取り上げたトピックのうち興味のある部分に関してインターネッ									
		ト等を利用	して調べる						
テキス	テキスト 指定なし								
参考書	・参考資料等	指定なし							
学生に対	対する評価	各回の提出	物 30%、学	期末レポ	ート 70%				

+117-144			屋收在为.1	<u>م (</u>	₩ <i>1</i> ++*/+	也以教皇夕。			
授業	環境変化	と生態	履修年次:1~	~ 4 平	単位数:	担当教員名:			
科目名	Environmental	_	選択:	TER 1/-	2単位30時間	栗田和紀			
	Ecolo	-	看・栄・歯・	理・ĨF	コード:LAB111	(研究室:図書館棟6)			
(DP)	VII 生涯にわ	たる探求心	と自己研鑽、Ⅱ	Ⅱ 実践に	└必要な知識、∨健康	づくりの環境の整備・改善			
〔授業の	の到達目標及び	びテーマ〕							
「地球	こは、なぜ、フ	たくさんの	生き物がいるの	וא ג ?כ	いう問いに、自分なり)の答えを出せるようになる			
ことがる	この授業の一	番の目標で	ある。具体的に	こは次の	3点をめざす.				
1	. 生物の「進	化」と「多	様性」について	こ説明す	ることができる				
2 . 多様な生物の間にある「つながり」を見つけることができる									
3	. 自然との関	わり合いに	関心をもち、「	多様な生	「物との共存」を考え	ることができる			
〔授業(の概要〕								
						代においても、私たちは自			
						形成され、そして維持され			
ているの	のだろうか。	この授業で	は、人間を含む)地球上(のすべての生物を生∂	出した進化の基礎を学ぶ。			
					で、生物多様性の総合	的な理解をめざす。			
キーワ・	ード: 自然、	科学、生命	、進化、生物多	3樣性、,	人間				
〔授業詞	計画〕			-					
回数	. 日付	テ	- マ		内	容			
第1回	10/1	生物の世界	界	授業の	ガイダンス、分類、	学名、分類体系			
第 2 回	10/8	進化とその	D証拠	ダーウ	ィン、『種の起原』、月	用不用説、自然選択説			
第 3 回	10/22	変異と遺信	д Д	遺伝的	変異、染色体、有性	E殖、減数分裂、突然変異			
第4回	10/29	個体群と	その特徴	成長曲	線、競争、人口				
第5回	11/5	進化の過利	Ŧ	適応、	自然選択、中立進化				
第6回	11/12	種と種分	Ł	種概念	、生殖隔離				
第7回	11 / 19	生き物との	の関わり	人間の暮らし、記事検索					
第8回	11/26	生物の多枝	羕性(1)	初期の生命、細菌、原生生物、ウイルス					
第9回	12/3	生物の多枝	羕性(2)	植物、	菌類				
第10回	12/10	生物の多枝	羕性(3)	無脊椎	動物				
第11回	12/17	生物の多枝	羕性(4)	脊椎動	·····································				
第12回	1/7	生態系		群集、	生態系				
第13回	1 / 14	人間と自然	然	ヒト、	人間活動とその影響、	生物多様性からの恩恵			
第14回	1/21	自然の探究	ጜ	自然観	察の方法、事例紹介				
第15回	1/28	まとめ		授業全	体の振り返り				
履修条件 特になし									
予習・復習 復習 重視。 配布資料や復習問題を活用し、 内容の理解を 深めること。									
テキスト 特になし。授業時に資料を配布する。									
参考書・参考資料等 関連図書・資料を適宜紹介する。									
学生に対	対する評価	定期試	検(60%) 課題	夏レポー	ト (40%) により総合	·的に評価する。			

授業			履修年次:1~	⊿ 任	単位数:	担当教員名:				
科目名	観察生物	学入門			+□∞. 2単位30時間	第二百代 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一				
1700	Guide to	the	因八、自、八、	困 म IF						
	Observational	l Biology			コード: LAB112	(初九王:囚自昭休り)				
[DP]	VII 生涯にわ	たる探求	心と自己研鑽、I	Ⅲ実践に必	要な知識、VI 多暗	種との協働				
〔授業の	の到達目標及	びテーマ)							
身近な	は自然環境と	そこに暮ら	らす生物を観察す	することで、	科学や生物学の基	基本となる次の資質・能力を				
養うこの	とを目標とす	る。								
1	. 自然のあり	のままの	姿を記録すること	とができる						
2.疑問と向き合うことができるようになる										
3	. 自ら進んで	周りの自然	然に目を向けるこ	ことができる						
	の概要〕									
						子奇心が刺激され、形やくら				
						と観察には忍耐力が必要だ。				
						生き物がいて何をしている				
					国の多様性や環境	危への適応について考える。				
		祭、植物、	動物、分類、用	/態、生態						
〔授業詞				1						
回数					内	容				
第1回	•	ガイダン			导、 受講に関する					
第2回		自然観察			去、観察の道具、複					
第3回	4/25	植物の分	類1	学内で見	られる植物の種類	(試料の準備)				
第4回	5/2	植物の分	類2		られる植物の種類	(データの記録)				
第5回	5/9	植物の形			(試料の準備)					
第6回	5/16	植物の形			(データの記録)					
第7回	5/23	植物の生	態1	植物の季節	節変化(試料の準	 有)				
第8回	5/30	植物の生	態2	植物の季節	節変化(データの	记録)				
第9回	6/6	動物の分	類1	学内で見る	られる動物の種類	(試料の準備)				
第10回	6/13	動物の分	類2	学内で見る	られる動物の種類	(データの記録)				
第11回	6/20	動物の形	態1	動物の体	(試料の準備)					
第12回	6/27	動物の形	態2	動物の体	(データの記録)					
第13回	7/4	動物の生	態1	動物の季節	節変化(試料の準備					
第14回	7/11	動物の生	態2	動物の季節	節変化(データの	记録)				
第15回	7/18	まとめ		授業全体の	の振り返り					
履修条件	+	特になし								
予習・行	复習		授業に参加する 普段から身近な		準備をしておくこ 向けること。	と。				
テキス		特にな	こし。授業時に資	料を配布す	<u>ය</u> .					
参考書	参考書・参考資料等 関連図書・資料を適宜紹介する。									
学生に対	対する評価	課題レ	√ポート(60%)	授業への国	収り組み(40%)	により総合的に評価する。				

授業			履修年次: 1 ~	4 任	単位数:	担当教員名:				
科目名	観察生物学	学入門		•	2 単位 30 時間	第二日, 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一				
1700	Guide to	the	医八、百、木、	困 म IF		(研究室:図書館棟6)				
	Observational	l Biology			コード: LAB112	(別九王・凶首昭休り)				
(DP)	VII 生涯にわ	たる探求	心と自己研鑽、I	Ⅲ実践に必要	要な知識、VI多職	種との協働				
〔授業の	の到達目標及	びテーマ)							
身近枕	は自然環境と	そこに暮	らす生物を観察す	することで、	科学や生物学の基	本となる次の資質・能力を				
養うこ。	とを目標とす	る。								
1	. 自然のあり	のままの	姿を記録するこ と	とができる						
2.疑問と向き合うことができるようになる										
3	. 自ら進んで	周りの自然	然に目を向けるこ	ことができる	5					
〔授業の	の概要〕									
生物	学の基本は「	観察するる	こと」にある。 🕯	多様な生物を	観察することで好	奇心が刺激され、形やくら				
し方を見	見つめること	で生命現象	象をより深く理解	解できるよう	うになる。 こうした	観察には忍耐力が必要だ。				
しかし、	観察する力 [.]	や技術の	応用範囲は生物学	学に留まらな	い。 どこにどんな	生き物がいて何をしている				
のか。	身近な動植物	を素材と	し、集めた記録は	こ基づいて生	物の多様性や環境	への適応について考える。				
キーワー	-ド: 自然観	察、植物、	動物、分類、用	態、生態						
〔授業詞	計画〕									
回数	日付	7	-		内	容				
第1回	10/1	ガイダン	יג גי	履修の心行	県、受講に関する 注	E意事項など				
第2回	10/8	自然観察	{	観察の手渡	去、 観察の道具、 権	1際の材料				
第3回	10/22	植物の分)類1	学内で見ら	られる植物の種類(〔試料の準備〕				
第4回	10/29	植物の分	類2	学内で見ら	られる植物の種類((データの記録)				
第5回	11/5	植物の形	態1	植物の体	(試料の準備)					
第6回	11/12	植物の形	態2	植物の体	(データの記録)					
第7回	11 / 19	植物の生	態1	植物の季節	節変化(試料の準備	青)				
第8回	11/26	植物の生	態2	植物の季節	節変化(データの証	3録)				
第9回	12/3	動物の分)類1	学内で見ら	られる動物の種類(〔試料の準備〕				
第10回	12/10	動物の分	類2	学内で見ら	られる動物の種類((データの記録)				
第11回	12/17	動物の形	態1	動物の体	(試料の準備)					
第12回	1/7	動物の形	態2	動物の体	(データの記録)					
第13回	1 / 14	動物の生	態1	動物の季節	節変化(試料の準備	青)				
第14回	1/21	動物の生	態2	動物の季節	節変化(データの話	3録)				
第15回	1/28	まとめ		授業全体の						
履修条件	4	特になし								
予習・彳	复習		授業に参加する 普段から身近な		準備をしておくこ。 向けること。	Ł.				
テキス	Þ	特にな	こし。授業時に資	料を配布す	る。					
参考書	参考書・参考資料等 関連図書・資料を適宜紹介する。									
学生に	学生に対する評価 課題レポート(60%)授業への取り組み(40%)により総合的に評価する。									

授業		履修年次:1~	4年	単位数:2単位30時間	担当教員名:					
科目名	生物学		//	コード: LAB113	栗田 和紀					
	Biolog	y 選択:看・栄・	埋・作		(研究室:図書館棟6)					
(DP)	Ⅲ 実践に必要	要な知識、VII 生涯にわ	たる探	求心と自己研鑽、Ⅱ コミニ	ュニケーション能力					
〔授業の	の到達目標及	びテーマ〕								
生物	学の基礎的な	内容を理解し、身近な	生物学	の話題について自ら考え	を巡らすことができるよう					
に、この	の科目では次	の3つをめざす。								
1.科学的な見方・考え方を身につける										
2. ヒトの体のしくみ (構造と機能)が理解できる										
3	. 様々な視点	から生命現象を考えられ	າວ							
〔授業の	の概要〕									
私たる	ちヒトとその	他の生物の生命現象にこ	ついて基	疑的な知識と考え方を学	ぶ。知識をただ覚えるので					
はなく、	知的好奇心	に基づいた「理解する」	姿勢を	養っていく。そのために	、様々な生物の生命現象を					
比べたい	り、先人が行	った観察や実験を振り返	えったじ)することで、体のしくみ	をより深く考える。					
キーワー	- ド: 科学、		生殖、	 遺伝						
〔授業詞										
回数	1	<i>テ</i> - マ		内	容					
第1回	4/8	生物学の世界へ								
第2回	4/15	人体の構成		言、組織、細胞、生体の化						
第3回	4/22	細胞と細胞小器官		包小器官、多細胞・単細胞						
第4回	5/13	細胞膜の性質								
第5回	5/20	 神経	恒常	 常性の維持、刺激の受容、	 神経系、神経細胞					
第6回	5/27	細胞間のコミュニケーション	 シ!	ブナル伝達、内分泌系、オ	マルモン					
第7回	6/3	 酵素	化	 学反応、活性化エネルギー	-、触媒、基質特異性					
第8回	6/10	代謝(1)	同(七、異化、ATP、外呼吸						
第9回	6/17	代謝(2)	内	 呼吸、糖の代謝						
第10回		生体防御		山球、リンパ系、自然免疫						
第11回		細胞の増殖		包周期、細胞分裂、生殖						
第12回	•			青、卵割、原腸形成、器官						
第13回		遺伝の仕組み		云の規則性、染色体、遺伝						
第14回	•	遺伝子とDNA		Aの構造、転写、RNA、						
第15回		まとめ		業全体の振り返り	млни v					
履修条件 特になし 特になし										
予習・行	予習・復習 復習重視。配布資料や復習問題を活用し、内容の理解を深めること。									
テキスト特になし。授業時に資料を配布する。										
参考書・参考資料等 関連図書・資料を適宜紹介する。										
学生に対	対する評価	定期試験(60%) 誹	題レオ	ペート (40%) により総合	的に評価する。					

				- 1						
授業			修年次:1~4年	≠	単位数:2単位30時間	担当教員名:				
科目名	生物学		修:歯	,,	コード: LAB113	栗田 和紀				
	Biolog	y 選	訳:看・栄・理・	作		(研究室:図書館棟6)				
(DP)	Ⅲ 実践に必要	要な知識	VII 生涯にわたる	5探求	えいと自己研鑽、Ⅱコミニ	ュニケーション能力				
〔授業の	の到達目標及	びテーマ〕								
生物	学の基礎的な	内容を理解	驿し、身近な生 物	物学の	D話題について自ら考える	を巡らすことができるよう				
に、この	の科目では次	の3つをめ	ざす。							
1	1 . 科学的な見方・考え方を身につける									
2. ヒトの体のしくみ(構造と機能)が理解できる										
3	. 様々な視点	から生命現	象を考えられる							
〔授業の	の概要〕									
私たる	ちヒトとその	他の生物の	生命現象につい	て基	礎的な知識と考え方を学	ぶ。知識をただ覚えるので				
はなく、	知的好奇心	に基づいた	「理解する」姿	勢を	養っていく。そのために	、様々な生物の生命現象を				
比べたい	り、先人が行	った観察や	実験を振り返っ	たり	することで、体のしくみ	をより深く考える。				
			」 、体内環境、生			·····				
 〔授業詞				./	~14					
回数		 テ	- र		内	容				
第1回										
第2回		人体の構成			、組織、細胞、生体の化					
第3回		細胞と細胞			小器官、多細胞・単細胞					
第4回		細胞膜の			順の構造、半透性、能動					
第5回		神経			階の維持、刺激の受容、					
第6回					「ナル伝達、内分泌系、オ					
第7回		酵素			反応、活性化エネルギー					
第8回		代謝(1			、異化、ATP、外呼吸					
第9回		代謝(2			吸、糖の代謝					
		生体防御	·		球、リンパ系、自然免疫	 5				
第11回		生体的単細胞の増殖	 诸		」の、リンパ家、日本完成 週期、細胞分裂、生殖					
 第12回		発生と分			。 「「「「」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」	『形成 ヒトの発生				
第12回 第13回										
		遺伝の仕組			の規則性、染色体、遺伝					
第14回		遺伝子と			Aの構造、転写、RNA、	通知司人				
第15回	1/28	まとめ		授業	全体の振り返り					
履修条件 特になし 特になし										
予習・復習 復習 重視。 配布資料や復習問題を活用し、 内容の理解を 深めること。										
テキス	F	特にな	し。授業時に資料	料を西	记布する。					
参考書・参考資料等 関連図書・資料を適宜紹介する。										
学生に対	対する評価	定期試	澰(60%) 課 題	レポ	ート (40%) により総合	的に評価する。				

種々0	物理学 (Physics) 選択:看・栄・歯 コード: LAB114 大嶌 竜午 (非常勤講師室)								
 〔授業の概要〕 物理学の基礎を、力学、熱学、電磁気学という分野に分類し、それぞれ講義する。また、波動や原子・ 原子核、放射線についても簡単に議論する。それぞれの分野を学ぶとき、保健医療分野への応用についても触れる。 キーワード:力学、電磁気学、熱学、原子、分子 									
〔授業詞		I							
回数		テー		内	容				
第1回	4/11	ガイダンス		学のいろいろな分野の					
第2回	4/18	力学(1)		ついて、力のつり合し					
第3回	4/25	力学(2)		、速度と加速度、運動					
第4回	5/2	力学(3)	大き	さと形のある物体の運	動 回転 モーメント、トルク				
第5回	5/9	力学(4)		とエネルギー					
第6回	5/16	力学(5)	気体	や液体の運動					
第7回	5/23	熱と物質の状	.態 熱と	温度、熱容量、熱伝導	^{真、} 気体、液体、固体				
第8回	5/30	熱とエネルギ	一 分子	運動、熱量保存則、熱	熱機関				
第9回	6/6	前半のまとめ) 前半	部分についてのまとめ	りと理解の確認				
第10回	회 6/13	光と波動	光、	電磁波、音					
第11回	회 6/20	電磁気(1)	電荷	、クーロン力、電場、	電位、電圧				
第12回	回 6/27	電磁気(2)	電流	、オームの法則 , 磁均	易				
第13回	ם 7/4	電磁気(3)	電磁	誘導、電動機、発電機	幾				
第14回	<u>a</u> 7/11	原子、原子核	、放射線 放射	線のいろいろ					
第15回	J 7/18	まとめ	まと	めと理解の確認					
履修条件	キャット 特になし。								
予習・復	予習・復習 予習として参考図書の当該部を読むこと、復習はノートの確認をすること。								
テキスト	スト 「PT・OP ゼロからの物理学」, 編者:望月久他, 羊土社								
参考書	う 書 ・ 参考資料等 必要に応じて、授業中に紹介する。								
学生に文	する評価	定期試験(9	90%)、学習態度(10)%)により総合的に討					

+372-114			屋板ケット	·88+17	○ 兴/는 ○○ □tF		* 드 수			
授業	//	, <u></u>	履修年次		2単位30時間		教員名:			
科目名		学	全学科専攻1	~4年	コード:LAB1					
	(Cherr	nistry)					(非常勤講師室)			
)	間は授業後に受付			
	実践に必									
	到達目標及									
							の基礎知識を習得し、			
					-		する。到達目標として			
					-		応の原理について説明			
できる。		物質・有機化活	言物の構造と性	E買につ	いて記明でき	රං				
〔授業の概要〕 私たちの身体をはじめ、身近にある食品や化粧品、家電、ハイテク製品、将来取り扱う医薬品や医療機										
		• • • • • • • •					門科目を理解・習得し			
							子の構造や化学結合、			
							か作用・循環というマク			
							(9 る。			
		造、濃度計算、	化字反心、牙	、養素、	化字構造、物	質循境				
〔授業計										
回数			- マ		•	3	容			
第1回	4/9	ガイダンス					D説明、化学アンケート			
第2回	4/16	物質の構成		原子。	と分子、電子配	置と電子	軌道、同位体			
第3回	4/23	化学結合		イオン	イオンの生成、イオン化エネルギー、化学結合					
第4回	4/30	物質の質量と	状態				の濃度、物質の三態			
第5回	5/7	溶液		• •	と溶質、溶解度					
第6回	5/14	酸と塩基		• • • • • • • • •	<u> </u>					
第7回	5/21	酸化と還元		酸化。	と還元、酸化剤	しと還元剤、	、電池、抗酸化物質			
第8回	5/28	化学反応		• • • • • • • • •	反応、反応熱、	化学平衡、	、触媒と酵素			
第9回	6/4	有機化合物			水素の構造					
第10回		有機化合物		アルコール、カルボン酸などの構造と化学反応						
第11回	6/18	天然有機化合	物	天然	勿中に含まれる	有機化合物	物の構造と生理活性			
第12回	6/25	人や食物中の	有機化合物	炭水	と物の構造と機	能				
第13回] 7/2	人や食物中の	有機化合物		の構造と機能					
第14回		人や食物中の		タン	パク質、酵素、	核酸の構成	造と機能			
第15回	7/16	環境の化学(化学総括)	地球(₯環境と資源□	ニネルギー	と現代文明			
履修条件 特になし										
予習・復習 可能であれば、テキストの該当する項目を予習しておくこと										
テキスト 「コ・メディカル化学」 齋藤勝裕 他著、裳華房										
参考書・参考資料等 特に指定はしない										
学生に対	する評価	定期試験(80%)と授業で	この提出	物(20%)によ	り総合的	に評価する			

授業			履修年次		単位数:		担当教員名:			
科目名	統計	÷	必修:看護1年	Ξ	1単位		橋本	和幸		
	(Statis	-			コード:	LAC101	(研究室	A209)		
	(otario	(100)								
	中叱己。	シ᠋⊞≁>ケ⊓≐竗	上海にわ	たて切	わん レロ:	⊐∠∏ぐ兟				
	実践に加		, 生涯にわ	にる採	れいと目	二叶萸				
	の到達目標及		רחויז בֿ⊐ <u>`+</u> עלב	L L + + + + - 19	しんか キーナー レン					
			知り、記述統計				. ,			
			とと、その結果			-				
.).	・データの見方と処理方法を身に着ける。メモやノートをとる。(態度・習慣)									
〔授業の	の概要〕									
中学権	交数学の「デ	ータの活用	」及び高校数学	きの「	データの	分析」で学	んだ記述統計と	、推測統計や		
統計的構	食定について	学ぶ。提示	されたデータを	計算す	る方法を	学ぶ。計算	ロ、データが少	量ならば手計		
算、大	量ならばパソ	コンのソフ	トウェアを用い	て行う	。計算結	課を読み取	Qる方法を学ぶ。			
キーワ・	ード: <i>データ</i> 角	解析、記述約	統計、推測統計、	、統計	的検定					
〔授業詞	計画〕									
回数	日付	テ	- र			内	容			
第1回	10/7	イントロダ	クション	授業の	進め方を説	明する。				
第2回	10/21	データの種	領	代表値	、数量デー	・タ、カテゴリ	リーデータ			
第3回	10/28	データをま	とめる1	平均値	、中央値、	最頻値				
第4回	11/11	データをま	とめる2	度数分	布、箱ひけ	巡				
第5回	11/18	データをま	とめる3	分散、	標準偏差、	偏差値				
第6回	11/25	つながりを	調べる1	相関、	回帰					
第7回	12/2	つながりを	調べる2	クロス	集計、連関]				
第8回	12/9	推測統計1		母集団	と標本					
第9回	12/16	推測統計2		標準誤	 差					
第10回	12/23	推測統計3		母平均	の推定					
第11回	1/6	推測統計4		母比率	の推定					
第12回	1/20	統計的検定		統計的	検定の概要	。帰無仮説と	≤対立仮説			
第13回	1/27	統計的検定の	の例1	母平均	の差の検定	2				
第14回	1/29	統計的検定の	の例2	母比率	の差の検定	2				
第15回	2/3	統計的検定の	の例3	カイ 2	乗検定					
履修条件 情報リテラシー を受講済みであることが望ましい。										
予習・復習 予習:高校数学 「データの分析」を読みこむ。復習:ノートをまとめる。								まとめる。		
テキスト 指定しない。配布資料を用意する。										
参考書・参考資料等 指定しない。授業の中で適宜紹介する。										
学生に対	対する評価	講義内語	果題 50%、期末	試験 5	0%					

授業			履修年次:1	年	単位数	•	担当教員名:				
科目名	統計学(刊	[学・作業)	必修:作業			30 時間	橋本	和幸			
		istics)	選択 : 理学		コード:	LAC101	(研究室	A209)			
	(otar)				_						
נפתו	宝践にが	必要な知識,	生涯にわた	る探究	シント白	コ研練					
	の到達目標及			. 01/171	СОСЦ						
		な約束事を知り) 記述統計と	レ推測し	奈計を区	「別できろ	(午時代)				
		理を行うことの									
		処理方法を身					. ,				
〔授業の	の概要〕										
		ータの活用」	及び高校数学	or :	データの	の分析」で学	んだ記述統計と	、推測統計や			
統計的構	検定について	学ぶ。提示され	ったデータを計	+算する	る方法を	学ぶ。計算	は、データが少	量ならば手計			
算、大	量ならばパソ	コンのソフト・	ウェアを用いて	て行う。	計算結	課を読み取	2る方法を学ぶ。				
キーワ・	ード:データ角	郓析、記述統計	、推測統計、約	統計的)検定						
〔授業	計画〕										
回数	日付	テー	२			内	容				
第1回	10/7	イントロダクシ	ョン 招	受業の進	しかった記	明する。					
第2回	10/21	データの種類	ſł	代表値、	数量デー	・タ、カテゴリ	リーデータ				
第3回	10/28	データをまとめ	ର ୀ ୍	平均值、	中央値、	最頻値					
第4回	11/11	データをまとめ	る2 度	度数分布	5、箱ひけ	図					
第5回	11/18	データをまとめ	3 3 ታ	分散、橋	準偏差、	偏差値					
第6回	11/25	つながりを調べ	る1 相	閣、回	帰						
第7回	12/2	つながりを調べ	る2 ク	クロス集	計、連関]					
第8回	12/9	推測統計1	Ð	母集団と	:標本						
第9回	12/16	推測統計2	榜	標準誤差	_						
第10回	12/23	推測統計3	£	母平均の)推定						
第11回	1/6	推測統計4	£	爭比率の)推定						
第12回	1/20	統計的検定	紉	統計的検	定の概要	。帰無仮説と	≤対立仮説				
第13回	1/27	統計的検定の例	1	母平均の)差の検定	2					
第14回	1/29	統計的検定の例	2 🗄	争比率の)差の検定	2					
第15回	2/3	統計的検定の例	3 1	カイ2勇	検定						
履修条件 情報リテラシー を受講済みであることが望ましい。											
予習・彳	予習・復習 予習:高校数学 「データの分析」を読みこむ。復習:ノートをまとめる。										
テキス	۲ ۲	指定しない	。配布資料を	用意す	-る。						
参考書	参考書・参考資料等 指定しない。授業の中で適宜紹介する。										
学生に対	学生に対する評価 講義内課題 50%、期末試験 50%										

授業			履修年次		単位数	•	担当教員名:				
科目名	統計	.¥	必修:栄養·歯	科1年		30 時間	橋本	和幸			
	#مراجع Statis(-	看護編入			:LAC101	(研究室				
	(Stat 15	strus)				LACIUI		,			
(22)			(1) 777 - 1		<u> </u>						
(DP)		必要な知識	, 生涯にわ	たる探	究心と目	己研鑽					
	の到達目標及										
			知り、記述統計				. ,				
	・基本的な統計処理を行うことと、その結果を読み取ることができる。(技能) 、データの目立と処理立法を見に差ける、メモやノートをとる、(能度、翌煙)										
・テ・	・データの見方と処理方法を身に着ける。メモやノートをとる。(態度・習慣)										
〔授業の	の概要〕										
中学権	交数学の「デ	ータの活用	」及び高校数学	≛の「	データの	O分析」で学	ゆんだ記述統計と	、推測統計や			
統計的構		学ぶ。提示	されたデータを	計算す	る方法を	を学ぶ。計算	は、データが少	量ならば手計			
算、大	量ならばパソ	コンのソフ	トウェアを用い	て行う	。計算約	詰果を読み取	Qる方法を学ぶ。				
キーワ・	ード:データ 角	郓析、記述 約	統計、推測統計、	、統計的	的検定						
〔授業	計画〕										
回数	日付	テ	- र			内	容				
第1回	10/3	イントロダ	クション	授業の進め方を説明する。							
第2回	10/10	データの種	領	代表値、数量データ、カテゴリーデータ							
第3回	10/17	データをま	とめる1	平均値、中央値、最頻値							
第4回	10/24	データをま	とめる2	度数分布、箱ひげ図							
第5回	1/31	データをま	とめる3	分散、	標準偏差、	偏差値					
第6回	11/7	つながりを	周べる1	相騏、	回帰						
第7回	11/14	つながりを	周べる2	クロス	集計、連	剧					
第8回	11/21	推測統計1		母集団	と標本						
第9回	11/28	推測統計2		標準誤	差						
第10回	12/5	推測統計3		母平均	の推定						
第11回	12/12	推測統計4		母比率	の推定						
第12回	12/19	統計的検定		統計的	検定の概要	更。帰無仮説と	≤対立仮説				
第13回	1/9	統計的検定	の例1	母平均	の差の検知	Ξ.					
第14回	1/23	統計的検定	の例2	母比率	の差の検知	Ē					
第15回	1/30	統計的検定	の例3	カイ 2	乗検定						
履修条件 情報リテラシー を受講済みであることが望ましい。											
予習・復習 予習:高校数学 「データの分析」を読みこむ。復習:ノートをまとめる。											
テキスト 指定しない。配布資料を用意する。											
参考書・参考資料等 指定しない。授業の中で適宜紹介する。											
学生に対	対する評価	講義内語	果題 50%、期末	試験 5	0%						

料目名 Information Interacy1必修:看護1年 電調約3年1単位 1000000000000000000000000000000000000	授業			履修年次:	単位数:		担当教員名:				
InformationIteracy1着護編入3年コード: LAC102(研究室: A 棟 402)[1DP]実践に必要な知識、 (協野室) (周安室)(福野室) (福田室)(福野室) (日本)第世権などの基礎知識について学ぶ、(知識)***********************************	科目名	情報リラ	ーラシート	必修:看護1年	1単位	30 時間	佐久間貴士				
IDP 実践に必要な知識、倫理観とプロフェッショナリズム、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑚 (授業の到途目標及びテーマ) ・コンピュータを利用したIT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ、(知識) ・マンピュータを利用したIT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ、(知識) ・職業人としての要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける(技能) ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのためのICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる(態度・習慣) (授業の概要) この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用したICT を獲得することを目信とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用したICT を獲得することを目信息に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目詰す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) 回数 日付 テーマ 内 第1回 4/8 ガイダンス害 ガイダンスを担当・キーレタブノックチクイビングといTで業 第3回 4/2 ダンマトウェア演習1 電子メール処理とするに必要などのです 第4回 5/13 情報処理1 第4回 5/13 情報処理3 第4回 5/13 「日報処理3 第5回 5/20 ソフトウェア演習3 アブリケージョンプロケックの知道のこ時にといろう、アレックトラインジンマージル 第6回 5/27 情報処理3 フードクロセックの利利(と電報2、方丸、マルシェング加算 第7回 6/10 14%処理3 フードクロセックの利利(支電設定、「和利) 第1回 6/11 「日報報迎 アンドロッシンクレジ				看護編入3年	コード	LAC102	(研究室:A棟402)				
【授業の到達目標及びテーマ】 ・コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ、(知識) ・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) 【授業の概要〕 この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 **ワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業) 回 数 日付 夏 数 日付 7 つ マ 内<容											
【授業の到達目標及びテーマ】 ・コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ、(知識) ・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) 【授業の概要〕 この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 **ワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業) 回 数 日付 夏 数 日付 7 つ マ 内<容	וסחו	宇珠に必要が	12401部 倫	i田組レプロフェッミ	/=+117	が、ソロ生涯	■ にわたス塚空心と白己研鑽				
・コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ、(知識) ・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用した If 報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) 【授業の概要) この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用した ICT を獲得することを目標とする。(情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用した、ICT を獲得することを目標とする。(情報リテラシー) クを利用した ICT を獲得することを目標とする。(情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報切りテラシー、コンピュータリテラシー 【授業情報] 9 0 9 10 9 11 9 11 9 10 9 11 9 4/15 第4回 5/13 第4回 5/13 第4回 5/13 第4回 5/13 第4回 5/13 第5回 5/20 9/21 7/21 9/21 5/22 10 6/27 11 21/21 9/21 5/27 11 7/21 11 7/21 11 7/21 12 7/21			•	単金配とノロノエッノ	~=, ., /		主にわたる赤九心と日し切頭				
 ・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用し、情報U集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) (「授業の概要) この演習料目では、大学生あよび職業人としての基礎的素積となる情報の整理と活用、あよびコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという違具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (「授業計画) 回 数 日付 テーマ 内 約 ガイダンス等 ガイダンスを「オークマ」 内 約 ガイダンス等 ガイダンスキューシーンビュータリテラシー (「授業計画) マーマ 内 約 ガイダンス等 ガイダンスを「オークマ」 内 第 4/2 ソクトウェア溶習1 電子メールの利用と管理 第 10 5/13 (情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第 5/20 ソクトウェア溶習3 アブリケーションソフトウェアの注意 (スタートウロエックの仕組と特性、情報検索の方法 第 5/20 ソクトウェア溶習3 アブリケーションソフトウェアとして利用(支援戦性、 印刷) 第 5/20 ソクトウェア済習3 アブリケーションシンフトウェアとして利用(支援戦性、 印刷) 第 6/10 「特徴セキュリティ1 コンピュータの仕組と特性、情報検索の方法 第 7 6/3 ソフトウェア済習3 アブリケーションソフトウェアと目を払入り 第 10 6/14 ソフトウェア済習4 バスワートの要託、クァイル場合してソコンの管理 第 10 6/24 ソフトウェア済習5 レポートや起共統(作成ガイトライン、アクトラインと校園) 第 11 ア 11 ア ア 11 ア ア				マキュリティ 茎作	法たちどの	すななの言葉に	ついて学ぶ(知識)				
 ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) 【授業の概要】 この演習料目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用した ICT を獲得することを目標とする。「情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になことを目状す. オーワート: IT、IC、「情報リテラシー、コンピュータリテラシー 【授業計画] ロ 数 日付 テーマ 内 容 第1回 4/8 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール処理・下ears・教務システム 第2回 4/15 情報処理1 ノートティキング/タッチタイピングとVDT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア消害1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特徴の運ンズサイングとVDT 作業 第5回 5/20 ソフトウェア消害1 マブリケーションソフトウェアの仕組と特徴の運ンステム、マルウェア対策 第7回 6/3 ソフトウェア消害3 アブリケーションソフトウェアへの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用 (文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア消害3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワード方は支がの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア消害3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第1回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書述情紙、文は検索 第11回 7/1 情報処理4 ドメインと信報性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア消害7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/23 ソフトウェア消害7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 雇修条件 特になし。 予留・復習 タイピングを兼新付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しなし、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中て簡単紹介する。 											
目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) 【授業の概要) この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目指す。 キーワード: ICT を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目指す。 キーワード: ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) 回数 日付 デーマ 内 容 第1回 4/8 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Tears・教務システム 第2回 4/15 情報処理1 ノートテイキングノタッチタイピングといT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 備報処理2 ネットワークの仕組と情報(情報段繁の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書記検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 「情報処理3 ワードプロセクの仕組と情報処理3 ワードプロセクロイ組と情報処理3 ワノウェアプ演習3 アブリムークの仕名と情報処理3 ワードプロセクロイ組と情報処理3 第10回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの定要紙、クロンアとは私為力 第3回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの定要紙、クロンアとの意味 第11回 110 6/24 ソフトウェア演習5 レボートド応は物(作成ガイドライン、アウトラインと投関) 第111回 172 ソフトウェア演習7 ブレビンデンス3日と書話報、支部構築、有効数字 第14 1720 ソフトウェア演習6 表計算ジアレジートーンのの目的問題点 配 150 1730 情報セキュリティ2 情報セキュリティ2 情報をキュリティン タイビングを務時付けるので予習しておくこと、復習は太											
 【授業の概要】 この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用したICT を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「自的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード:IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー 【授業計画】 回数 日付 テーマ 内容 第1回 4/15 情報処理1 ノートティキング/タッチタイピングといび作業 第3回 4/15 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第3回 4/16 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習1 電子メールの利用に管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアクは事務入力 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアク回転 ハルウェア対策 第7回 6/10 情報処理3 ワードプロセッせの利用(文書設定、日刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習4 バスワードの更振、ファイル操作とパションの管理 第11回 6/24 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校園) 第11回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンデーションソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 ブレゼンテションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティ2の特徴が、著作権、情報の評価 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの与目の問題点 歴修条件 特になし。 学者・参考資料等 授業作在のる中で原始合する。 学者にない 必要なレジュメを配布する。 学業にに対する評価 							の元点でしていていた。				
Cの演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュ タを利用すべきかを演習し、さらに「自約に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、 情報リテラシー、コンピュータリテラシー 【授業計画】 回数日付テーマ、内容 第1回4/8 ガイダンス等 第1回4/8 ガイダンス等 第3回4/22 ソフトウェア演習1 オテムング、クッチタイビングとつびて作業 第3回4/22 ソフトウェア演習1 オテムング、クッチタイビングといて作業 第3回4/22 ソフトウェア演習1 オテムング、クッチタイビングといて作業 第3回5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、言語検索とオンラインジャーナル 第6回5/27 情報処理1 コンピュータの行組と特性、情報検察の方法 第5回5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、言語検索とオンラインジャーナル 第6回5/27 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と特性、情報検察の方法 第5回6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第4回6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、EUPP) 第1回6/24 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパンコンの管理 第10回6/24 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回7/11 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第12回7/8 インターネットと情報 第13回7/28 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの基礎、人力と編集、有効数字 第14回7/28 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 たなし。 予習・復習 デオスト 特定なし、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で那時沿する。 学生に対する評価											
- タを利用 した ICT を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー 【授業計画】 キーワード: 10 数 日付 テ ー マ 第3回 4/8 ガイダンス等 ガイダンス注意・メール設定・Teams・教務システム 第3回 4/15 情報処理1 ノートテイキング/タッチタイピングといひT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と特性、情報検索の方法 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アプリケッションソフトウェアンジャーナル 第6回 6/10 情報処理3 ワードプロセッ切の利用(2書設定、ED刷) 第7回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、フィイル操作とパンコンの管理 第10回 6/17 ソフトウェア演習5 レポード応試抜げに転ガイドライン、アウトラインと校園) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、SI用と言語情報、文献検索 第11回 7/1 情報の理4 ドメインと信報性、著作権、情報の部門面 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンーシンフトウェアの本配 第14回 7/23 情報セュリティ2 情報セキュリティン <			大学生およ7滩	職業人としての基礎	納素養と	-なる情報の)整理と活用、およびコンピュ				
タを利用すべさかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) 回数 日付 テーマ 内容 第 第1回 4/8 ガイダンス等 ガイダンス ガイダンスと注意・メール協定・Teams・教務システム 第2回 4/15 情報処理1 ノートテイキング / タッチタイビングと VDT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア演習1 第4回 5/13 情報処理2 第4回 5/13 情報処理3 第5回 5/20 ソフトウェア演習3 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 コンビュータの仕組と特性、情報検索2052シージン 第7回 6/17 ソフトウェア演習3 第10回 6/17 ソフトウェア演習4 パンワーク・マンリの利用(文書設定、印刷) 1 第10回 6/17 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問3) 1 第11回 7/1 情報処理4 第11回 7/1 情報処理4 第11回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼート作成技術(作成ガイドライン、アクションワートウェアの利用 1 第13回 7/24											
が可能になることを目指す。 キーワード: IT, ICT、情報リテラシー、コンビュータリテラシー (授業計画) 回数 日付 テーマ 内 容 第1回 4/8 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メールは反正・Teans・教務システム 第2回 4/15 情報処理1 ノートティキング/タッチタイビングといT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書話検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報セキュリティ1 コンビュータの仕組と特性、情報検護アンストム、マルウェア対策 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報セキュリティ1 コンビュータの仕組と特性を 第8回 6/10 情報処理3 ワードブロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲測) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話書稿報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼報 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテンションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティシートを活用する。 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>											
【授業計画】 回数 日付 テ - マ 内 容 第1回 4/8 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム 第2回 4/15 情報処理1 ノートテイキング/タッチタイピングと VOT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッ切の利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/28 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアのの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 アドウェア演習7 グレゼンテーションシンクトウェアのの利用 第											
回数 日付 テ ー マ 内 容 第1回 4/8 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teans・教務システム 第2回 4/15 情報処理1 ノートテイキングノタッチタイピングと VOT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報処理3 ワードプロセッサの利用と管理 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 第15回 7/30 情報セキュリティン オービングを義務がけるので子習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 予習・復習 タイピングを義務がけるので子習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 参考書・参考資料等 授業や定めるいで御時報節でする。	キーワ・	- ド: IT、 IC	「、情報リテラ	シー、コンピュー	タリテラ	シー					
第1回 4/8 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム 第2回 4/15 情報処理1 ノートテイキング/タッチタイビングと VDT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アプリケーションソフトウェアと日本語入力 第7回 6/3 ソフトウェア演習4 パくスワードの更新、ファイル操作とパンコンの管理 第10回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検察 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティク 情報セキュリティの今日的問題点 ア 9イビングを義務付けるので予習しておくこと、復習はメモ・ノートを活用すること。 予書: 授業を進める中で部時組介する。 学生に対する部 授業内で作成するのはの物で約	〔授業	計画〕									
第2回 4/15 情報処理1 ノートテイキング/タッチタイビングとVDT 作業 第3回 4/22 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報也キュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 層修条件 特になし。 予習・復習 タイビングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイビングや能力(約)	回数	日付	テー	र		内	容				
第3回 4/22 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/20 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 学生に対する評価 授業ので作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(能力)、	第1回	4/8	ガイダンス等	ダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム							
第4回 5/13 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検察の方法 第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 アビングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で師 新紹介する。 授業を進める中で師 新紹介する。	第2回	4/15	情報処理1	ノート	テイキング	ブ / タッチタイ	イピングとVDT 作業				
第5回 5/20 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/27 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 層修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%), 学習態度(約 20%)、タイピング能力(約)	第3回	4/22	ソフトウェア演	習1 電子メ	ールの利用	月と管理					
第6回 5/27 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 ア営・復習 タイビングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 予習・復習 授業を進める中で随時組介する。 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%),学習態度(約 20%), タイピング能力(約	第4回	5/13	情報処理2	ネット	ワークの作	土組と特性、情	青報検索の方法				
第7回 6/3 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 ア習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 方キスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第5回	5/20	ソフトウェア演	習2 図書と	著作権、書	誌検索とオン	ノラインジャーナル				
第8回 6/10 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/17 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 ア習・復習 タイビングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 特定なし、 指定しなし、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第6回	5/27	情報セキュリテ	ィ1 コンピ	ュータの作	土組と情報処理	聖システム、マルウェア対策				
第9回6/17ソフトウェア演習4パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理第10回6/24ソフトウェア演習5レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲)第11回7/1情報処理4科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索第12回7/8インターネットと情報ドメインと信頼性、著作権、情報の評価第13回7/22ソフトウェア演習6表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字第14回7/29ソフトウェア演習7プレゼンテーションソフトウェアの利用第15回7/30情報セキュリティ2情報セキュリティの今日的問題点履修条件特になし。予習・復習タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。テキスト指定しない、必要なレジュメを配布する。参考書・参考資料等授業を進める中で随時紹介する。学生に対する評価授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%), 学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第7回	6/3	ソフトウェア演	習3 アプリ	ケーション	/ソフトウェフ	アと日本語入力				
第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第8回	6/10	情報処理3	ワード	プロセッサ	ナの利用 (文書	設定、印刷)				
第11回 7/1 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第9回	6/17	ソフトウェア演	習4 パスワ	ードの更新	乐、ファイル 掛	操作とパソコンの管理				
第12回 7/8 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/22 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第10回	6/24	ソフトウェア演	習5 レポー	ト作成技術	時(作成ガイ)	[、] ライン、アウトラインと校閲)				
第13回 7/22 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第11回	7/1	情報処理4	科学的	エビデンフ	ス、引用と書詞	志情報、文献検索				
第14回 7/29 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%),学習態度(約20%),タイピング能力(約	第12回	7/8	インターネット	と情報 ドメイ	ンと信頼性	生、著作権、 🏾	青報の評価				
第15回 7/30 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%),学習態度(約20%),タイピング能力(約	第13回	7/22	ソフトウェア演	習6 表計算	ソフトウュ	「アの基礎、)	、力と編集、有効数字				
履修条件特になし。予習・復習タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。テキスト指定しない、必要なレジュメを配布する。参考書・参考資料等授業を進める中で随時紹介する。学生に対する評価授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約	第14回	7/29	ソフトウェア演	習7 プレゼ	ンテーショ	ョンソフトウコ	∟アの利用				
予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約	第15回	7/30	情報セキュリテ	ィ2 情報セ	キュリティ	の今日的問題	<u>夏</u> 点				
テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約	履修条(4	特になし。								
参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)学習態度(約20%)タイピング能力(約	予習・	复習	タイピングを	義務付けるので予習し	っておくこ	と。復習はメ	モ・ノートを活用すること。				
授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)学習態度(約20%)タイピング能力(約 学生に対する評価	テキス	۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲- ۲	指定しない、	必要なレジュメを配れ	する。						
学生に対する評価	参考書	・参考資料等	授業を進める	中で随時紹介する。							
	学生に対する評価										

			履修年次:		単位数:		担当教員名:			
科目名	情報リテ	ラシー	必修:理学	・作業1年	1 単位	30 時間	佐久間貴士			
П		literacy I			コード:	LAC102	(研究室:A棟402)			
		j _								
[DP] 3	実践に必要な	∵知識 倫	L i理観とプロ ⁻	フェッショナ	ーリズム V	 生涯にわ	L たる探究心と自己研鑽			
	到達目標及(生転こノロノ	/ _ / /] /	<u>э</u> лд, v					
		- · · ·	ァキュリティ	茎作権だ	・どの其礎	知識について	て学ぶ。(知識)			
							身につける。(技能)			
		収集とコミュ								
		没を選択して記								
〔授業の										
この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュ										
ータを利用した ICT を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュー										
タを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け										
が可能になることを目指す。										
キーワー	ド: IT、ICT	「、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー								
〔授業計詞	画)		· · · · · · ·							
回数	日付	テー	テーマ 内容							
第1回	4/9	ガイダンス等	イダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム							
第2回	4/16	情報処理1		ノートテイ	キング / タ	ッチタイピング	ブとVDT 作業			
第3回	4/23	ソフトウェア演	習1	電子メール	の利用と管理	里				
第4回	4/30	情報処理 2		ネットワーク	クの仕組と物	寺性、情報検 索	家の方法			
第5回	5/7	ソフトウェア演	習2 	図書と著作	雀、書誌検 察	索とオンライン	ノジャーナル			
第6回	5/14	情報セキュリテ	́г1	コンピュー	タの仕組と忖	青報処理シスラ	テム、マルウェア対策			
第7回	5/21	ソフトウェア演	習3	アプリケー	ションソフ	トウェアと日本	\$語入力			
第8回	5/28	情報処理3		ワードプロ	セッサの利用	用(文書設定、	印刷)			
第9回	6/4	ソフトウェア演					パソコンの管理			
第10回	6/11	ソフトウェア演	習5				ノ、アウトラインと校閲)			
第11回	6/18	情報処理4		科学的エビ	デンス、引用	用と書誌情報、	文献検索			
第12回	6/25	インターネット	と情報			乍権、情報の語				
第13回	7/2	ソフトウェア演	フトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字							
第14回	7/9		ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用							
第15回	7/16	情報セキュリテ	12	情報セキュ	リティの今日	日的問題点				
履修条件		特になし。								
予習・復習	四 四 四	タイピングを	義務付けるの	で予習してお	くこと。復	習はメモ・ノ	ートを活用すること。			
テキスト		指定しない、	必要なレジュ	メを配布する	o					
参考書・著	参考資料等	授業を進める	中で随時紹介	する。						
ビー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										

料目名 Information Inf	授業	情報リラ	テラシート	履修年次:		単位数:		担当教員名:		
IDPI 実践に必要な知識、倫理観とプロフェッショナリズム、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽 (授業の到達目標及びテーマ) ・コンビュータを利用したITF やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ、(知識) ・職業人として必要な消ਛ、(加速の) ・職業人としての要な情報リテラシーを習得し、レボートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(想度・習情) [授業の概要] この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用した ICT を獲得することを目標とする。(特理リテラシー接得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目詰す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) 回数 日付 テーマ ウを利用した ICT を獲得することを信頼とする。(特理リテラシーのという道具としての使い分け が可能になることを目詰す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー キャーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリンクスと注意・メール設定・Tears・教務システム キーワード: IT、ICT、情報の見て、オットワークの仕組と特徴の理シンテム、マルウェアム 第1回 4/12 ガイダンスを ガイダンスと注意・メール規定・Tears・教務システム 第2回 4/19 「報報処理1 ノートティイキング / タッチクイングといび やぼ 第3回 4/12 ガイダンフトウェア演習3 アブリケークのしても活動するこム 第3回 6/14 ソフトウェア演習3 アブリケージンジャーナル 第5回 5/17 ソフトウェア演習3 アブリケージングラインジャーナル 第5回 6/14 ソフトウェア演習3 アブリケージングラインジャーナル 第1回 6/24 情報処理3 ワードブロセッジの利用(支護理 第1回	科目名			必修:栄養・歯科	1年	1単位 30時	間	佐久間貴士		
IDP 実践に必要な知識、倫理観とブロフェッショナリズム、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑚 (授業の到達目標及びテーマ) ・コンビュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ、(知識) ・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レボートの基礎的作成技術を身につける(技能) IT を利用した IT 特徴工業とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) (授業の概要) この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用した ICT を獲得することを目信とする。情報リテラシー運得のためにどのようにコンピュータを利用した ICT を獲得することを目信をする。情報リテラシー運得のためにどのようにコンピュータを利用した ICT を獲得することを目信をする。「報切リテラシー運得のためいとのうこコンピュータを利用した ICT を獲得することを目信をする。「報切リテラシー運得のためいとのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目詰す。 ギーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー 「授業前面」 回 数 日付 テ - マ 内 第1回 4/12 ガイダンス考 ガイジス等 ガイダンスと注意・メール認定、Tearas・教話システム 第2回 4/12 ブイダンス等 第3回 4/12 ブノクシークロックの日間を運運 第3回 4/12 ブノクシス等 第4回 5/10 情報処理 ノートディキャングノタッチクロングシンでいて作業 第3回 4/12 メットワークの11組と特性、情報検察の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演算 第1回 6/24 情報処理 アンビック・ジェンジャージ 第3回 6/14 ソフトウェア演算 アブリケージンジェンジャージ </td <td></td> <td>Informatior</td> <td>n literacy I</td> <th></th> <td></td> <td>コード: LAC</td> <td>2102</td> <td>(研究室:A棟402)</td>		Informatior	n literacy I			コード: LAC	2102	(研究室:A棟402)		
 【授業の到達目標及びテーマ】 コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ。(知識) 職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習情) 【授業の概要〕 この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素装となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業新画) 図 数 日付 テーマ 内 容 第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teans・教務システム 第2回 4/19 情報処理1 ノートティキング / タッチタイピングといて作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組に特徴、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図歴と著作権、置結検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報処理3 ワードプロセッサの利用(X書設定, ENB) 第9回 6/14 ソフトウェア演習3 アプリケーションソフトウェアと日本語入力 第7回 5/31 ソフトウェア演習4 パスワードの要素、ファイル操作とパソコンの管理 第11回 6/28 情報処理3 ワードプロセッサの利用(X書設定, ENB) 第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの要素、入力と構築、有効数字 第11回 7/26 情報処理3 アビリケーションソフトウェアの基礎、人力と検索 第11回 7/26 情報処理3 アビリケーションソフトウェアの基礎、人力と検索 第11回 7/26 情報処理3 アレビンデーションソフトウェアの基礎、人力と検索 第11回 7/26 情報処理3 アレビンデーションソフトウェアの場所 第112回 7/26 情報処理3 アレビンデーションソフトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計像ソフトウェアの利用 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 ブレビンデーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セェリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 席修条件 特になし。 予定 4000000 アキストレートを活用する。 参考資料等 授率の上の第一条での手段と記号の アキュリティン 「報報 アメロシー 第二条 6月 アキュリティ2 第二条 7日 第二条 7日 第二条 7日 第二条 7日 第二次の今日的問題意 アキュリティン 「投入した(第単条)、 アキュリティ2 「日本 アメロション アキュリティン アメロシー アメロシー アキュリティン アメロシー アメロシー										
 【授業の到達目標及びテーマ】 コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ。(知識) 職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習情) 【授業の概要〕 この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素装となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業新画) 図 数 日付 テーマ 内 容 第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teans・教務システム 第2回 4/19 情報処理1 ノートティキング / タッチタイピングといて作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組に特徴、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図歴と著作権、置結検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報処理3 ワードプロセッサの利用(X書設定, ENB) 第9回 6/14 ソフトウェア演習3 アプリケーションソフトウェアと日本語入力 第7回 5/31 ソフトウェア演習4 パスワードの要素、ファイル操作とパソコンの管理 第11回 6/28 情報処理3 ワードプロセッサの利用(X書設定, ENB) 第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの要素、入力と構築、有効数字 第11回 7/26 情報処理3 アビリケーションソフトウェアの基礎、人力と検索 第11回 7/26 情報処理3 アビリケーションソフトウェアの基礎、人力と検索 第11回 7/26 情報処理3 アレビンデーションソフトウェアの基礎、人力と検索 第11回 7/26 情報処理3 アレビンデーションソフトウェアの場所 第112回 7/26 情報処理3 アレビンデーションソフトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計像ソフトウェアの利用 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 ブレビンデーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セェリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 席修条件 特になし。 予定 4000000 アキストレートを活用する。 参考資料等 授率の上の第一条での手段と記号の アキュリティン 「報報 アメロシー 第二条 6月 アキュリティ2 第二条 7日 第二条 7日 第二条 7日 第二条 7日 第二次の今日的問題点 アキュリティン 「投入した(第単条)、 アキュリティ2 「日本 アメロション アメロション アメロション アメロション アメロション アメロション アメロション	[DP]	実践に必要	な知識 倫	理観とプロフェッ	ショナ	-リズム VII 生	涯にわ	たる探究心と自己研鑽		
 ・コンピュータを利用した IT やセキュリティ、著作権などの基礎知識について学ぶ(知識) ・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用した 情報!!!まとコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報!!!まとコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報!!!まとコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報!!!まと選択して記録することができる。(態度・習慣) (授業の概要) この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンビュータリテラシー (授業計画) 回 数 日付 テーマ 内 容 第1回 4/12 ガイゲンス等 ガイゲンスと注意・メール処定・Teams・数務システム 第2回 4/19 情報処理1 ノートティキング(タッチタイビングと VOT 作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特徴処理システム、マルウェア対策 第5回 5/17 ソフトウェア演習1 マブリケーションソフトウェアと日本編入力 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報をキュリティ1 コンピュータの仕組と特徴処理システム、マルウェア対策 第7回 6/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本編入力 第3回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、EIMI) 第3回 6/7 (特徴理3) ワードブロセッサの利用(文書設定、EIMI) 第11回 6/21 ソフトウェア演習4 パンスの管理 第110回 6/21 ソフトウェア演習4 パンストウを要素、ファイル場体をパンスの空障 第111回 6/22 情報処理4 科学的エピアンス 引用く書話情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作を(特徴の評価) 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテンヨンソフトウェアの利用 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報をセキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 アモスノト 特徴とセュリティ2 情報をキュリティの今日的問題点 アモスノト 特徴とセュリティ2 アモスノト 特応技術(市成式人ドウス)、クロトや法用すること。 デモスト 第200 6/14 ジンクーネットと情報 アイレードを法用する。 参加 6/14 ソフトウェア演習7 ブレビデンス 引用く書話情報の評価 第13回 7/26 情報をセュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 アモスノト 特応技術の(中国本)) 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 ブレビデンス 引用と言話情報、文献検索 第15回 7/26 情報の 中で価本) アモスノト 特応支払 クロー (1000000000000000000000000000000000000					/ _ /					
 ・職業人として必要な情報リテラシーを習得し、レポートの基礎的作成技術を身につける。(技能) ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) (授業の概要) この演習料目では、大学生および職業人としての基礎的素積となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという過具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) ロ 数 日付 テーマ 内 容 第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスを調査 ガイダンスと注意・メールの表明とでしていて確認 第3回 4/12 ガイダンス等 ガイダンス等 ガイダンス等 ガイダンス等 パイダンス等 パイダンスを考慮す (情報処理 パイダンス パイダンス アイダンス パイダンス パイダン パイダン				ァキュリティ 芙住	乍権だ	どの其礎知識	1-71.1-	て受ぶ (知識)		
 ・IT を利用し、情報収集とコミュニケーションのための ICT を活用する視点を獲得し、 目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) 【授業の概要) この演習料目では、大学生および職業人としての基礎的素養となる情報の整理と活用、およびコンピュ ータを利用した ICT を獲得することを目標とする。「情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュ ータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目書す。 キーワート: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー 【授業計画〕 回 数 日付 <u>7 - マ</u> 内 容 第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メールみ定・Tears・教務システム 第2回 4/19 情報処理1 ノートティキング/タッチタイピングとVOT 作業 第3回 4/26 ソフトウェア落音1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特徴の運み方法、マルウェアが第 第5回 5/17 ソフトウェア落音1 アブリケーションソフトウェアクは気 第7回 5/31 ソフトウェア済音3 アブリケーションソフトウェアスに見て、「観報家の方法 第7回 5/31 ソフトウェア済音4 バスワードの受新、ファイル操作とバソコンの管理 第1回 6/24 ソフトウェア済音3 アブリケーションソフトウェアクは環境 第1回 6/24 ソフトウェア済音4 バム 第4回 6/14 ソフトウェア済音5 レポード市成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校現) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情紙、文献検索 第11回 7/12 ソフトウェア済音6 表計算ソフトウェアの基础、入力と編集、有効数字 第11回 7/26 「積極処理4」 ブルセンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報処理4 アレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報処理4 アレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報処理4 アレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報処理4 アレブレクテージョンソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報処理4 アビンテージョンソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報処理4 アビンテージョンソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報処理4 アレゼンテージョンソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報位 エリティ2 第載で4000円の目的問題点 第 第 第 アキュリティ2 第 第 アキュリティ2 第 アトマンテア語ので発音のので予習しておくこと。(復習はメモ・ノートを活用すること。 第 第 学業部(等) アキュレディン「物時取合うる。 学業部(する) 学業の下応する作成物の作家名の(約0%)、学習悪度(約0%)、タイビングを取り(約 学業の下応するに物やの約9(約00%)、学習悪度(約0%)、タイビングアの能力(約 										
目的に応じた情報手段を選択して記録することができる。(態度・習慣) 【授業の概要) この演習料目では、大学生および職業人としての基礎的素積となる情報の整理と活用、およびコンピュータを利用した107 を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目形す。 キーワード: IT、017 を獲得することを目標とする。情報リテラシー獲得のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目形す。 キーワード: IT、017 を獲得することを目標とする。情報リテラシー (授業) モーワード: 第3回 日付 テーマ 第400 グパクシス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム 第2回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール処理・Teams・教務システム 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理 キットワークの仕組と情報し課システム、マルウェア対策 第5回 5/17 ソフトウェア演習3 アブリケーションパク・フェンパク・マルウェア対策 第6回 5/24 情報処理3 ワードブロセッサの利用く支部定、En喇) 第8回 6/7 情報処理3 アードプロセッサの利用(文書認定、En喇) 第8回 6/7 情報処理3 アードレデンニションパク・マンパクシテレンパンパクトラインジェア対策 第10回 6/21 ソフトウェア演習3 アブリケーションパク・マンパク・アンジェアは、マンパク・アンパクシス・クトラインと校園) 第110回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトランニンを検閲) 第112回 パ/2 メーキュリティン 情報セロ 第113回 <										
この演習科目では、大学生および職業人としての基礎的素積となる情報の整理と活用、およびコンピュ タを利用すべきかを演習し、さらに「自約に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目掲す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー 【授業計画】 回数日付テーマ、内容 第1回4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム 第2回4/10 情報処理1 ノートテイキング / タッチタイビング VOT 作業 第3回4/26 ソフトウェア演習1電子メールの利用と管理 第4回5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回5/17 ソフトウェア演習1電子メールの利用と管理 第4回5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、言語検索とオンラインジャーナル 第6回5/24 情報セキュリティ1コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回5/31 ソフトウェア演習3アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第4回6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、EIPM) 第5回6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、EIPM) 第5回6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、EIPM) 第10回6/21 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、J和検察 第12回7/5 インターネットと情報 第13回7/12 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回7/12 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回7/12 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回7/12 ソフトウェア演習7ブレゼデーションソフトウェアの基礎、人力と編集、有効数字 第12回7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリテククモデーションソフトウェアの利用 第13回7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリテク部用 第13回7/26 情報セキュリティン 情報セキュリテクの手術の目的問題点 暦修条件 特になし、 学習・復習 学生になりてきる評価										
- タを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分けが可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー 【授業計画] キーワード: 回数 日付 テーマ 内容 客 第1回 4/12 ガイダンス等 第1回 4/19 情報処理1 ノートテイキング/タッチタイピングといT作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報快索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とインラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と特性、信報検索の方法 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアンサーナル 第6回 6/7 「報報処理3 ワードブロセッサの利用(法書設定、印刷) 第7回 6/7 情報処理3 ワードブロセッサの利用(法書設定、印刷) 第10回 6/21 ソフトウェア演習4 バスワードの更新、フィイル操作とバンコンの管理 第11回 6/28 情報処理3 ワードの更新、フィイル操作とバンコンの管理 第11回 6/24 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトライン、欠ウトラインと校園) 第11回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションフトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションフ・クシェアの利用 第13						(
タを利用すべきかを演習し、さらに「目的に合わせて使う」ためのツールという道具としての使い分け が可能になることを目指す。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) 日付 テーマ 四数 日付 テーマ 内 容 第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンス注意・メール設定・Teams・教務システム 第2回 4/19 情報処理1 ノートテイキング / タッチタイビングと VDT 作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と特性、情報検索の方法 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第6回 5/24 情報処理3 ワードブロセッリの利用(文書設定、印刷) 第7回 6/7 情報処理3 ワードブロセッリの利用(文書設定、印刷) 第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと収測) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、51用と書話情報、文献検察 第11回 6/24 プレラーネットと情報 ドメインと信頼性、素作板、情報の部件 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 プレビデーシンと回答 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレビデーションソフトウェアの利用 <td< td=""><td>この演習</td><td colspan="9"></td></td<>	この演習									
が可能になることを目指す。 キーワード: IT,	ータをオ	利用した ICT	を獲得すること	とを目標とする。	青報リ	テラシー獲得	のため	こどのようにコンピュー		
キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンビュータリテラシー [投業計画] 回数 日付 テーマ 内 容 第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teans・教務システム 第2回 4/19 情報処理 ノートテイキング/タッチタイピングと VDT 作業 第3回 4/20 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理 ネットワークの仕組と特性、情報快変の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンビュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアクロマンシストマンジャーナル 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回 6/28 情報処理4 科学的ビデンス・引用と書誌情報、文献検索 第11回 6/28 情報処理4 科学的ビデンス・引用と書誌情報、文献検索 第11回 6/28 情報セキュリティ2 情報のビデンス・フロトラ・デクシンクトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテ・ションソフトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテ・ションソントウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティンクラロジョンクラロジョンジョンクトレビング和	タを利用	用すべきかを	演習し、さらば	こ「目的に合わせ [・]	て使う	ゔ」ためのツー	ルとい	う道具としての使い分け		
【授業計画〕 回数 日付 テ - マ 内 容 第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール起定・Teams・教務システム 第2回 4/19 情報処理1 ノートテイキング/タッチタイピングと VOT 作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッ切利用(文書設定、ED刷) 第10回 6/24 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテションソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 ブレゼンテションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 予習・復習 タイビングを義務付けるので子習しておくこと、復習はメモ・ノートを活用すること、 <td>が可能</td> <td>こなることを</td> <td>目指す。</td> <th></th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	が可能	こなることを	目指す。							
回数 日付 テ ー マ 内 容 第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teans・教務システム 第2回 4/19 情報処理1 ノートテイキングノタッチタイピングと VDT 作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書話情報、文献検索 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 ア10 アブラ アブリテウェアの募目しておくこと。 復習はメモ・ノートを活用すること。 デキュ	キーワー	-ド: IT、IC	T、情報リテラ	シー、コンピュー	タリ	テラシー				
第1回 4/12 ガイダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム 第2回 4/19 情報処理1 ノートテイキング/タッチタイビングとVDT 作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アプリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検察 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 層修条件 特になし。 予習・復習 タイビン	〔授業詞	計画〕								
第2回 4/19 情報処理1 ノートテイキング/タッチタイビングとVDT 作業 第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検察 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 アドなし。 タイビングを義務付けるので予習しておくこと、復習はメモ・ノートを活用すること。 予習・復習 タイビングを義務付けるので予習しておくこと、復習能度(約 20%)、タイビング能力(約)、 タイビングを載力する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイビング能力(約) 第	回数	日付	テー	テーマ 内 容						
第3回 4/26 ソフトウェア演習1 電子メールの利用と管理 第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エピデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 層修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で簡明語介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約)	第1回	4/12	ガイダンス等	イダンス等 ガイダンスと注意・メール設定・Teams・教務システム						
第4回 5/10 情報処理2 ネットワークの仕組と特性、情報検索の方法 第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 学生に対する評価 授業ので作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピングを能力(約	第2回	4/19	情報処理1 ノートテイキング / タッチタイピングと VDT 作業							
第5回 5/17 ソフトウェア演習2 図書と著作権、書誌検索とオンラインジャーナル 第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校問) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 ブレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第3回	4/26	ソフトウェア演	習1 電子:	メール	の利用と管理				
第6回 5/24 情報セキュリティ1 コンピュータの仕組と情報処理システム、マルウェア対策 第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポード作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エピデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 ア営・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 予習・復習 授業を進める中で随時紹介する。 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%), 学習態度(約 20%), タイピング能力(約	第4回	5/10	情報処理2	ネッ	トワー	クの仕組と特性、	情報検索	家の方法		
第7回 5/31 ソフトウェア演習3 アブリケーションソフトウェアと日本語入力 第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 ア習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 こ テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で師納紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約 クイピングで能力(約	第5回	5/17	ソフトウェア演	習2 図書の	と著作	権、書誌検索とオ	ンライン	ノジャーナル		
第8回 6/7 情報処理3 ワードプロセッサの利用(文書設定、印刷) 第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 ア習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第6回	5/24	情報セキュリテ	1 אין אין	ピュー	タの仕組と情報処	理シスラ	テム、マルウェア対策		
第9回 6/14 ソフトウェア演習4 パスワードの更新、ファイル操作とパソコンの管理 第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第7回	5/31	ソフトウェア演	習3 アプリ	リケー	ションソフトウェ	アと日本	S語入力		
第10回 6/21 ソフトウェア演習5 レポート作成技術(作成ガイドライン、アウトラインと校閲) 第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第8回	6/7			ドプロ	セッサの利用 (文	書設定、	印刷)		
第11回 6/28 情報処理4 科学的エビデンス、引用と書誌情報、文献検索 第12回 7/5 インターネットと情報 ドメインと信頼性、著作権、情報の評価 第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約										
第12回7/5インターネットと情報ドメインと信頼性、著作権、情報の評価第13回7/12ソフトウェア演習6表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字第14回7/19ソフトウェア演習7プレゼンテーションソフトウェアの利用第15回7/26情報セキュリティ2情報セキュリティの今日的問題点履修条件特になし。予習・復習タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。テキスト指定しない、必要なレジュメを配布する。参考書・参考資料等授業を進める中で「御時紹」する。学生に対する評価授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)学習態度(約 20%)、タイピング能力(約			ソフトウェア演							
第13回 7/12 ソフトウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字 第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)、タイピング能力(約	第11回	6/28	情報処理4	科学的	りエビ	デンス、引用と書	誌情報、	文献検索		
第14回 7/19 ソフトウェア演習7 プレゼンテーションソフトウェアの利用 第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%),学習態度(約20%),タイピング能力(約		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	インターネット							
第15回 7/26 情報セキュリティ2 情報セキュリティの今日的問題点 履修条件 特になし。 予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%),学習態度(約20%),タイピング能力(約		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	ソフトウェア演	ドウェア演習6 表計算ソフトウェアの基礎、入力と編集、有効数字						
履修条件特になし。予習・復習タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。テキスト指定しない、必要なレジュメを配布する。参考書・参考資料等授業を進める中で随時紹介する。学生に対する評価授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約								间用		
予習・復習 タイピングを義務付けるので予習しておくこと。復習はメモ・ノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学牛に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)、学習態度(約20%)、タイピング能力(約	第15回	7/26	情報セキュリテ	ィ2 情報	セキュ	リティの今日的問	題点			
テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)学習態度(約20%)、タイピング能力(約	履修条件	4	特になし。							
参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)学習態度(約20%)タイピング能力(約	予習・彳	复習	タイピングを	義務付けるので予習	してま	くこと。復習はメ	メモ・ノ	ートを活用すること。		
授業内で作成する作成物や課題の内容(約60%)学習態度(約20%)タイピング能力(約 学生に対する評価	テキス	F	指定しない、	 必要なレジュメを配	布する					
学生に対する評価	参考書	・参考資料等	授業を進める	中で随時紹介する。						
	学生に対	学生に対する評価								

相合 情報リテラシーII Information Def No.	授業			履修年次:		単位数:	担当教員名:				
Informationliteracy II選択: 全学科専攻・全学年□ード: LAC103(研究室: A棟402)[DP]実践に必要な知識、倫理観とブロフェッショナリズム、VII 生涯にわたる探究心と自己研獲(T2gのF)連目標及びテーマ)・インクーネットや書種の情報を評価し活用する方法を知り、ソーシャルメディアにあける個人情報の取り扱いの問題点を学ぶ、また、研究・情報発信の方法について学ぶ(知識)・されからの職業人として必要な、会力手を想定したこれでを高く(知識)・信報発信の方法について学ぶ(知識)・信報発信の方法について学ぶ(知識)・信報を書の構成を評価した情報手段選択を行うことができる。(態度・習慣)(T2gの概要)この演習科目では、情報リテラシーゴ用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解さ、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解さ、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解さ、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解さ、文献などの情報の整定行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み知う、基本として身につける。キロワード10万(信報型・ラシー、コンピュータの)第1回107「情報の伝法活用1(情報への人間工学的アブローチ・コンパーサリアザイン第3回11/1611/17「情報の伝法活用1「情報の伝法活用1(情報への人間工学的アブローチ・コンパーサリアザイン第3回11/1611/18「情報の伝法と活用1「情報の伝法活用1「情報への人間工学的アブローチ・コンパーサッシッレメディン(1)第3回11/1611/17「情報を認知」「日報報告の込坊1「特報を読む」第1回11/20「日報登信の法術1「報報告の説法」第1回122「日報登信の法術3第1回123「日報登信の法術3第1回124「日報登信の法術3第1回123「日報登信の法術3第1回124「日報登信の法術3第1回123「日報登信の法術3第1回124140124 <td></td> <td>情報リテ</td> <td>ラシーロ</td> <td></td> <td>学科教職課程選択者</td> <td></td> <td></td>		情報リテ	ラシーロ		学科教職課程選択者						
IDE 日本日のの 日本日のの (「提案の到達目標及びテーマ] (「提案の到達目標及びテーマ] ・インターネットや書籍の情報を評価し活用する方法を知り、ソーシャルメディアにおける個人情報の取り扱いの 問題点を学ぶ、ま、研究・情報発信の方法について学ぶ、(知識) ・これからの職業人として必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習慣) ・信報発信のために必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習慣) (「授薬の概要) この済習料目では、情報リテラシー1の履修を受け、コンビュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を詰み解き、文献などの情報の意理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコン ビュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。 キーワード: I、ICT、情報リテラシー、コンビュータの客 11回 10/7 情報セキュリティ ガイダンス・パスワード管理/情報伝義と伝報性 第1回 10/2 情報の伝達と活用1 情報の公認とご添用2 第2回 10/2 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドく信報経験 第3回 10/2 情報の伝達と活用3 デジタルデバイス・パスワード管理/情報伝達と信頼性 第5回 11/16 情報をする。 「日本2 第5回 11/18 「価報の伝送を訪用3 デジタルデバインパスワーション 第5回 11/12 情報のご認知道 「学ジャルジャッテン 第10回 11/2 「情報発行の法務1 歴報化サイクルとマニュアル/ソーシャルズディン 第11回 12/2 情報発行の法務1 歴報化サイクルとマニュアルノソーシャルズディン 第10回 12/2 情報報節の政務1 歴報化サイクルとマニュアルノン 第110回											
【授業の到達目構及びテーマ】 ・インターネットや書編の情報を評価し活用する方法を知り、ソーシャルメディアにおける個人情報の取り扱いの問題点を学ぶ、また、研究・情報発信の方法について学ぶ(以識) ・これからの職業人として必要な、受け手を想定したICT を習得する。(技能) ・情報発信のために必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習信) 【授業の概要】 この演習科目では、情報リテラシー「の履修を受け、コンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信。データ整理のためにコン ビュータを利用する際に留置すべき点を知り、基本として身につける。 キーワード: IT、IC(信報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) 回数 回数 日付 テーマ 内<容			j								
【授業の到達目構及びテーマ】 ・インターネットや書編の情報を評価し活用する方法を知り、ソーシャルメディアにおける個人情報の取り扱いの問題点を学ぶ、また、研究・情報発信の方法について学ぶ(以識) ・これからの職業人として必要な、受け手を想定したICT を習得する。(技能) ・情報発信のために必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習信) 【授業の概要】 この演習科目では、情報リテラシー「の履修を受け、コンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信。データ整理のためにコン ビュータを利用する際に留置すべき点を知り、基本として身につける。 キーワード: IT、IC(信報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) 回数 回数 日付 テーマ 内<容	וחחן					リームを行ったとうなら					
 ・インターネットや書籍の情報を評価し活用する方法を知り、ソーシャルメディアにおける個人情報の取り扱いの 問題点を学ぶ。また、研究・情報発信の方法について学ぶ、(知識) ・されからの職業人として必要な、受け手を想定したICT を習得する。(技能) ・信報影信のために必要な、受け手を想定したICT を習得する。(技能) ・情報影信のために必要な、受け手を想定したICT を習得する。(技能) ・情報影信のために必要な、受け手を想定したICT を習得する。(技能) ・信報ジランレンジマルスを獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習慣) 【授業の概要) この演習科目では、情報リテラシー1の履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目 標とする。情報リテラシーご用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野 の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報影性。データ整理のためにコン ピュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。 キーワード・IT、ICT、信報リテラシー、コンピュータリテラシー 【授業指冊] 回 数 日付 テ ー マ 内 客 10/7 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン 第3回 10/2 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第4回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/25 情報と事ね1 情報を知り 情報と事ね3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/26 情報と事ね3 「参報2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第1回 11/2 情報と事ね2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第1回 12/2 情報発信の技術1 標準化サイクルとマニュアル / ソーシャルメディアと個人情報 第1回 12/2 情報発信の技術3 情報の情値 12/2 「報税管値の技術4 四条作成のルール・設価の取り扱い 13回 12/2 「報税信の技術5 たのに 14回 12/3 「報税管価の技術6 ブレゼンテーションの効果を手段 14回 12/3 「報税管の技術5 たのに 第3回 12/3 14編 12/3 「報報登信の技術5 たの活用 15/2 15/2 17/2 プレビンテーシー1を活用すること デジー 17/2 17/2 17/2				健観とノロ.	ノェッショナリスム, ۷	11 生涯にわたる採究	心と自己研鎖				
問題点を学ぶ、また、研究・情報発信の方法について学ぶ、(知識) ・これからの職業人として必要な、受け手を想定したICTを習得する。(技能) ・情報発信のために必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習信) 【7220円要〕 この演習科目では、情報リテラシーIの履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目 標とする。(特報リテラシー活用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野 の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信。データ整理のためにコン ビュータを利用する際に留高すべき点を知り、基本として身につける。 キーワード: ICT (情報)リテラシー、コンビュータリテラシー [授業計画] 回数目付 チーマ 月1回 10/7 「報報セキュリティ ガイダンス・バスワード管理 / 情報伝達と信頼性 第2回 10/21 10/21 情報の伝達と活用1 「報報公告報2 アジタリンデバイドと情報提供 第3回 10/28 情報の伝述と当用2 第4回 11/11 情報の伝述を活用3 第5回 11/18 情報を要数2 第7回 12/2 情報発行の支払う 第7回 12/2 情報発行の支払う 第7回 12/2 情報発行の支払う 第7回 12/2 「報発行の支払う 第7回 12/2 「報発行の支払う 第7回 12/2 「報発行商の支払う 第1回 12/2 「報発行の支払う 第11 「報返したし抜約 第110回						ᆘᆪᆕᆺᆕᇆᄿᆬᇰ	個したおの取り扱いの				
 ・ にれから O職業人として必要な、受け手を想定した ICT を習得する。(技能) ・ 情報発信のために必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習慣) (授業の概要) この演習科目では、情報リテラシー I の履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目標とする。情報リテラシーズ用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み指する。情報リテラシー、コンピュータの利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報のな運た行うとともに、論文作成や情報発信のために、データ整理のためにコンピュータを利用すべきがを演習する。自然科学分野の論文を読入第りまた。 キロクード: IT、ICT、信報リテラシー、コンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読みで見た。(単築科学の) キロクード、IT、ICT、信報リテラシー、コンピュータを利用すべきかを演習する。(意度 14%) キログージー ビークを利用すべきができる。(態度・習慣) ロクン(14%) (特報のためとごのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を美術和すき話のまた。データを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読むが見、「特徴のたる」 キログ・デー・マーのを第二ののためにざのようについどっくたちょの第二のの活用を目 オログ・デークを利用する。 マーク、デークをの利用すべきの楽(A) ログ・「用のためにどのようにコンピュータを利用する。 マーク、デークを取りたいたもまの課題(約) ログ・ジーが用のために使用のために使用のためのいうに、「教育なのためのいうな」 ログ・ ログ・「「報報をしながれ」」「特徴のためること。 ア目・							個人情報の取り扱いの				
・情報発信のために必要な視点を獲得し、目的に応じた情報手段選択を行うことができる。(態度・習慣)【授業の概要) この演習料目では、情報リテラシーIの履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目 標とする。情報リテラシー活用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野 の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコン ビュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。キーワード:IT、ICIT、情報リテラシー、コンピュータリテラシー【授業計画)画 数回 数日付ア - マ内容第1回10/7情報セキュリティガイダンス、パスワード管理/情報伝達と信頼性第2回10/21情報の伝達と活用3デジタルデバイドと情報提供第3回10/28情報の伝達と活用3デジタルデバイドと情報提供第5回11/16情報の伝達と活用3デジタルデバイドと情報提供第6回11/25情報恐怖の送税1標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報第6回12/212/16情報恐怖の送税1第7回12/213/1012/314/111480(振星)第1012/315/121/1617/13情報恐怖の送税1第1101/2318/1412/3第11012/2318/24四条件様・書詰情報の置理第1101/217/2517/27第1201/2017/26情報発音の技術3第1301/27ジントウェア演習33 用と著作権・書詰積極の置理第1401/23第401/23第401/23第401/24第401/25第201/26「報務地合の技術3第301/27ジントウェア演習3第40第410140123「報務地合の技術6ブレジーションの効果と手段第315 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>											
【授業の概要〕 この演習料目では、情報リテラシー1の履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目標とする。情報リテラシー活用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータクを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコンピュータクを利用すべきかを演習する。自然科学分野 第二年のテド: ITCI、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) 基本として身につける。 キーワード: ITCI、情報リテラシー、コンピュータリテラシー (授業計画) チーマ 回数 日付 テーマ 第1回 10/7 情報セキュリティ ガイダンス・パスワード管理/情報伝統主 (特報) 第 第2回 10/21 情報の伝達と活用1 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニパーサルデザイン 第3回 10/28 情報の伝達と活用3 第5回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/18 情報と事故1 情報と事故 第6回 11/25 情報を回該第 デジタルデバイドと情報提供 第7回 12/21 情報の伝述を活用3 デジタルデバイドと情報提供 第7回 12/22 情報発電の技術1 標準ではイリンシーション 第9回 12/29 ソフトウェア演習3 個人情報保護法/マイナンバー 第9回 12/20 情報発音の技術3 情報の構造化 第110回 12/23 情報発音の技術5 Excel の活用 第110回 12/23 情報発音の支援							(能在・翌個)				
この演習科目では、情報リテラシー1の履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目 標とする。「春報リテラシー活用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野 の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコン ビュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。 キーワード: IT、IC、「春報リテラシー、コンピュータリテラシー [1]2 日付 テーマ 四数 日付 テーマ 第1回 10/7 情報の伝達と活用1 「報報のた違と活用1 「報報への人間工学的アブローチ・ユニバーサルデザイン 第3回 10/2 情報の伝達と活用3 第4回 11/11 情報の伝達と活用3 第5回 11/16 「春報と事故2 第5回 11/16 「春報と事故2 第6回 11/26 「春報と事故2 第7回 12/2 「春報発信の技術1 「春報と書協な2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 「春報発信の技術1 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報発信の技術3 「春報の価値化 第110回 16 ソフトウェア演習3 第110回 1/28 「春報発信の技術3 第110回 1/29 「春報発信の技術3 第110回 1/29 「春報発信の技術5 第110回 1/29 「春報発信の技術5 第110回 1/29 「春報発信報5			女体化品で度								
標とする。情報リテラシー活用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野 の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコン ビュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。キーワード:IT.ICT.情報リテラシー、コンピュータリテラシー(授業計画) 回の ア ア回 第1回10/7情報セキュリティ 情報セキュリティガイダンス・パスワード管理/情報伝達と信頼性第2回10/21情報位先会に満出 情報の伝達と活用3情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン第3回10/28情報の伝達と活用3デジクルデバイドと情報提供第4回11/11情報公事故2インデント分析と対応・情報整理の技法第5回11/18情報と事故2インジテント分析と対応・情報整理の技法第6回11/25情報と事故2インジテント分析と対応・情報整理の技法第7回12/2情報経徳の技術1標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報第8回12/8ソフトウェア演習1個人情報保護法、マイナンバー第9回12/16情報受信の技術3情報の価値化第11回16ソフトウェア演習2研究法公回評価第12回12/20情報発信の技術3情報の価値化第11回1/20情報発信の技術3情報の価値化第11回1/20情報発信の技術3情報の価値化第11回1/20情報発信の技術3情報の価値化第11回1/20情報発信の技術3情報の価値化第11回1/20情報発信の技術3情報の価値化第11回1/20情報発信の技術4図表作成のレール・数値の取り扱い第11日1/20情報発信の技術5どび10活用第11日1/20情報発信の技術5どび10/活用第11日1/20情報発信の技術5どび10/活用第11日1/20情報発信の技術5どび10/活用第11日1/20情報登信の技術5どび10/活用第11日1/20情報登信の技術5どび10/活用第11日1/20情報登信の			情報リテラ		冬を受け コンピュー	々を利田した情報」	「テラシーの活田を日				
の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコン ビュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンビュータリテラシー (授業計画) 日付 テ ー マ 内 容 第1回 10/7 情報セキュリティ ガイダンス・パスワード管理 / 情報公論と信頼性 第2回 10/21 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン 第3回 10/28 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン 第3回 10/28 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/18 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第6回 11/25 情報と事故1 情報と事故 第6回 11/26 情報を告めは1 情報と事故 第7回 12/27 情報発信の技術1 標準化セイクルとマニュアル / ソーシャルメディアと個人情報 第7回 12/27 情報発信の技術1 標準化セイクルとマニュアル / ソーシャルメディアと個人情報 第10回 12/29 ソフトウェア演習3 目用と書加 書話標案の 第11回 16 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14 1/28 情報の行会技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報のにの技術6											
ビュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。 キーワード: IT、ICT、情報リテラシー、コンビュータリテラシー (授業計画) 日付 テーマ 内 容 第1回 10/7 情報セキュリティ ガイダンス・バスワード管理/情報伝達と信頼性 第2回 10/21 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン 第3回 10/28 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/12 情報公事ぬ1 情報公事物 第6回 11/25 情報公事物2 インジデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報発信の技術1 標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法、マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習3 引用と着作権・書誌情報の管理 第11回 1/20 情報発信の技術5 Excel の活用 第11回 1/20 情報発信の技術5 Excel の活用 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と着作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術6 ブレゼンテーションの効果と手段 魔修条件 情報リテラシー 1を既に修満みであること。 予習範囲の指摘を注意する。復習 プロビンテーションの効果と手段											
キーワード: IT, ICT, 情報リテラシー、コンビュータリテラシー IT IT アーマ 内 容 第1回 10/7 情報セキュリティ ガイダンス・バスワード管理/情報伝達と信頼性 第2回 10/21 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニバーウルデザイン 第3回 10/28 情報の伝達と活用2 障害と情報・非言語コミュニケーション 第4回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/18 情報と事故1 情報と書故 第6回 11/25 情報と事故2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報発信の技術1 標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法人マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術3 情報の価値と化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第11回 1/6 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 1/23 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 1/23 情報と信頼の法5 Excel のご用 第15回 2/3 情報を信の支持の支援の支援の ブレビンテーションの効果と手段 「着報の											
【授業計画】 回数 日付 テーマ 内 容 第1回 10/7 情報とキュリティ ガイダンス・パスワード管理/情報伝達と信頼性 第2回 10/21 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン 第3回 10/28 情報の伝達と活用2 障害と情報:非言語コミュニケーション 第4回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデパイドと情報提供 第5回 11/18 情報と事故1 情報と事故 第6回 11/25 情報と事故2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報発信の技術1 標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法/マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術3 情報の価遣化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第12回 1/20 情報発信の技術4 図表作成のルール・数値の取り扱い 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報税信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報の信頼の技術5 Excel の活用 第15回 2/3											
回数 日付 テーマ 内 容 第1回 10/7 情報セキュリティ ガイダンス・バスワード管理/情報伝達と信頼性 第2回 10/21 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン 第3回 10/28 情報の伝達と活用2 障害と情報・非言語コミュニケーション 第4回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/18 情報と事故1 情報と事故 第6回 11/25 情報と取し2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報発信の技術1 標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法/マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第11回 1/20 情報発信の技術3 情報の構造化 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書詰情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 1/27 博和管の技術6 ブレゼンテーションの効果と手段 ア目 「銀 1/10 情報受告の技術6 ブレゼンテーションの効果と手段 ア目 「報報 1/10 「報<											
第2回 10/21 情報の伝達と活用1 情報への人間工学的アプローチ・ユニバーサルデザイン 第3回 10/28 情報の伝達と活用2 障害と情報・非言語コミュニケーション 第4回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/18 情報と事故2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第6回 11/25 情報と事故2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報発信の技術1 標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法/マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第11回 1/6 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報知行の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報現合成術6 ブレゼンテーションの効果と手段 慶修条件 情報リテラシー Iを既に修得済みであること。 予習範囲を指定する。復習はノートを活用する。 テキスト 指定しない 必要なレジュンを配布する。 参考書・参資料等 授業を進める中で「御報部へ 1960%) 学習態度(約20%) 授業内での小テストあよび課題(約			テ ー	ব	内容						
第3回 10/28 情報の伝達と活用2 障害と情報・非言語コミュニケーション 第4回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデパイドと情報提供 第5回 11/18 情報と事故1 情報と事故 第6回 11/25 情報と事故2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報発信の技術1 標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法 / マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 16 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第12回 1/20 情報発信の技術4 図表作成のルール・数値の取り扱い 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報告告の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報現合の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報見テラシー Iを既に修済みであること。 予習 ア営範囲を指定する。復習はノートを活用すること デ営範囲を指定する。復習はメモレジュメを配布する。 デキュト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 学生に対する経知価 授業内で作板する作成物の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)授業内での小テストちよび課題(約 <td>第1回</td> <td colspan="9">1回 10/7 情報セキュリティ ガイダンス・パスワード管理/情報伝達と信頼性</td>	第1回	1回 10/7 情報セキュリティ ガイダンス・パスワード管理/情報伝達と信頼性									
第4回 11/11 情報の伝達と活用3 デジタルデバイドと情報提供 第5回 11/18 情報と事故1 情報と事故 第6回 11/25 情報と事故2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報死信の技術1 標準化サイクルとマニュアルノソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法 / マイナンバー 第9回 12/16 情報死信の技術2 科学論文の構成・書誌検索 第10回 12/23 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第12回 1/20 情報発信の技術4 図表作成のルール・数値の取り扱い 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報の行っ技術6 ブレゼンテーションの効果と手段 履修条件 「情報リテラシー I を既に歩得みであること。 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 予習・復習 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 デキュ・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評判 授業を進める中で随時紹介する。											
第5回 11/18 情報と事故1 情報と事故 第6回 11/25 情報と事故2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報免債の技術1 標準化サイクルとマニュアルノソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法 / マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術2 科学論文の構成・書誌検索 第10回 12/23 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第12回 1/20 情報発信の技術4 図表作成のルール・数値の取り扱い 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報免信の技術6 プレゼンテーションの効果と手段 履修条件 「幅Uアラシー I を既に零得みであること。 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 予習・復習 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 デオスト が定しない、必要なレジュメを配布する。 後考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストあよび課題(約	第3回	10/28	情報の伝達と活		障害と情報・非言語コミ	ミュニケーション					
第6回 11/25 情報と事故 2 インシデント分析と対応・情報整理の技法 第7回 12/2 情報発信の技術 1 標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習 1 個人情報保護法/マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術 2 科学論文の構成・書誌検索 第10回 12/23 情報発信の技術 3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習 2 研究手法の評価 第12回 1/6 ソフトウェア演習 3 引用と著作権・書誌情報の管理 第13回 1/27 ソフトウェア演習 3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術 5 Excel の活用 第15回 2/3 情報発信の技術 5 Excel の活用 第15回 2/3 情報リテラシー Iを既にと アレビンテーションの効果と手段 履修条件 「育報リテラシー Iを既にと 「新設 5 アロシントを活用すること。 予習・復望 予習範囲を指定する。復習レジュンを配布する。 デオスト 指定しない、必要なレジュンを配布する。 参考書・参考資料等 授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストちよび課題(約	第4回	11/11	情報の伝達と活	······ 拥 3	デジタルデバイドと情報						
第7回 12/2 情報発信の技術1 標準化サイクルとマニュアル/ソーシャルメディアと個人情報 第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法/マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術2 科学論文の構成・書誌検索 第10回 12/23 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報発信の技術6 プレゼンテーションの効果と手段 履修条件 情報リテラシー Iを既に修済みであること。 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 長端本のるの小菜(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第5回	11/18	情報と事故1		情報と事故						
第8回 12/9 ソフトウェア演習1 個人情報保護法/マイナンバー 第9回 12/16 情報発信の技術2 科学論文の構成・書誌検索 第10回 12/23 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第12回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第12回 1/20 情報発信の技術4 図表作成のルール・数値の取り扱い 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報発信の技術6 ブレゼンテーションの効果と手段 履修条件 「報報リテラシー Iを既に修得済みであること。 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業内で作成する作成物の内容(約6%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第6回	11/25	情報と事故2		インシデント分析と対応	応・情報整理の技法					
第9回 12/16 情報発信の技術2 科学論文の構成・書誌検索 第10回 12/23 情報発信の技術3 情報の構造化 第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第12回 1/20 情報発信の技術4 図表作成のルール・数値の取り扱い 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報発信の技術6 プレゼンテーションの効果と手段 履修条件 情報見「テラシー Iを既に修得済みであること。 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 予習・復習 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 デキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第7回	12/2	情報発信の技術	<u>,</u> 1	標準化サイクルとマニュ	ュアル/ソーシャルメラ	ディアと個人情報				
第10回12/23情報発信の技術3情報の構造化第11回1/6ソフトウェア演習2研究手法の評価第12回1/20情報発信の技術4図表作成のルール・数値の取り扱い第13回1/27ソフトウェア演習3引用と著作権・書誌情報の管理第14回1/29情報発信の技術5Excel の活用第15回2/3情報発信の技術6プレゼンテーションの効果と手段履修条件情報リテラシー Iを既に修得済みであること。予習・復習予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。テキスト指定しない、必要なレジュメを配布する。参考書・参考資料等授業を進める中で随時紹介する。学生に対する評価授業内で作成する作成物の内容(約60%), 学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第8回	12/9	ソフトウェア演	習1	個人情報保護法/マイス	トンバー					
第11回 1/6 ソフトウェア演習2 研究手法の評価 第12回 1/20 情報発信の技術4 図表作成のルール・数値の取り扱い 第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報発信の技術6 プレゼンテーションの効果と手段 履修条件 情報リテラシー Iを既に修得済みであること。 予習・復習 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約60%),学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第9回	12/16	情報発信の技術	<u>j</u> 2	科学論文の構成・書誌植	検索					
第12回1/20情報発信の技術4図表作成のルール・数値の取り扱い第13回1/27ソフトウェア演習3引用と著作権・書誌情報の管理第14回1/29情報発信の技術5Excel の活用第15回2/3情報発信の技術6プレゼンテーションの効果と手段履修条件情報リテラシー Iを既に修得済みであること。予習・復習予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。テキスト指定しない、必要なレジュメを配布する。参考書・参考資料等授業を進める中で随時紹介する。学生に対する評価授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第10回	12/23	情報発信の技術	, 3	情報の構造化						
第13回 1/27 ソフトウェア演習3 引用と著作権・書誌情報の管理 第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報発信の技術6 プレゼンテーションの効果と手段 履修条件 情報リテラシー Iを既に修得済みであること。 予習・復習 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約 60%)、学習態度(約 20%)授業内での小テストおよび課題(約	第11回	1/6	ソフトウェア演	習2	研究手法の評価						
第14回 1/29 情報発信の技術5 Excel の活用 第15回 2/3 情報発信の技術6 プレゼンテーションの効果と手段 履修条件 情報リテラシー Iを既に修得済みであること。 予習・復習 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第12回	1/20	情報発信の技術	, 4	図表作成のルール・数値	直の取り扱い					
第15回 2/3 情報発信の技術6 プレゼンテーションの効果と手段 履修条件 情報リテラシー Iを既に修得済みであること。 予習・復習 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第13回	1/27	ソフトウェア演	習3	引用と著作権・書誌情報	服の管理					
履修条件情報リテラシー I を既に修得済みであること。予習・復習予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。テキスト指定しない、必要なレジュメを配布する。参考書・参考資料等授業を進める中で随時紹介する。学生に対する評価授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第14回	1/29	情報発信の技術	報発信の技術 5 Excel の活用							
予習・復習 予習範囲を指定する。復習はノートを活用すること。 テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	第15回	2/3	情報発信の技術	<u>j</u> 6	プレゼンテーションの	加果と手段					
テキスト 指定しない、必要なレジュメを配布する。 参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 学生に対する評価 授業内で作成する作成物の内容(約60%)、学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	履修条(4	情報リテラミ	ノー I を既に修	得済みであること。						
参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。 授業内で作成する作成物の内容(約60%)学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約	予習・彳	复習	予習範囲を打	「定する。 復習	はノートを活用すること	•					
授業内で作成する作成物の内容(約60%)学習態度(約20%)授業内での小テストおよび課題(約 学生に対する評価	テキス	<u> </u>	指定しない、	必要なレジュ	メを配布する。						
学生に対する評価	参考書	・参考資料等	授業を進める	る中で随時紹介	する。						
	学生に対	付する評価				夏(約20%)授業内での	ン小テストおよび課題(約				

授業			履修年次:		単位数:	担当教員名:				
科目名	情報リテ	ラシーロ		学科教職課程選択者	1単位 30 時間	佐久間貴士				
1144	Information			料専攻・全学年	コード: LAC103	(研究室:A棟402)				
	11101111441011	neeraey n			J= F. LAC105					
		/ _ · · · · ·								
[DP]	実践に必要な		健観とブロ:	フェッショナリズム, V	生涯にわたる探究	心と自己研鑽				
	の到達目標及び									
						固人情報の取り扱いの				
				について学ぶ。(知識)						
				Eした ICT を習得する。	. ,					
		安な倪点を獲	得し、目的に	こ応じた情報手段選択を	と行つことかでさる。	(態度・省憤)				
この演習科目では、情報リテラシーIの履修を受け、コンピュータを利用した情報リテラシーの活用を目										
標とする。情報リテラシー活用のためにどのようにコンピュータを利用すべきかを演習する。自然科学分野の論文を読み解決、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコン										
	の論文を読み解き、文献などの情報の整理を行うとともに、論文作成や情報発信、データ整理のためにコン ピュータを利用する際に留意すべき点を知り、基本として身につける。									
		除に留息9へさ点を知り、基本として身につける。 「、情報リテラシー、コンピュータリテラシー								
「授業				シー、コンピュータリテフシー						
回数		テー	र	? 内容						
第1回	10/1	0/1 情報セキュリティ ガイダンス・パスワード管理/情報伝達と信頼性								
第2回	10/8	情報の伝達と活	 钥1	情報への人間工学的アン	プローチ・ユニバーサル	·デザイン				
第3回	10/22	情報の伝達と活	钥2	障害と情報・非言語コミ	ミュニケーション					
第4回	10/29	情報の伝達と活	佣3	デジタルデバイドと情報	 報提供					
第5回	11/5	情報と事故1		情報と事故						
第6回	11/12	情報と事故2		インシデント分析と対応	応・情報整理の技法					
第7回	11/19	情報発信の技術	, 1	標準化サイクルとマニ	ュアル/ソーシャルメテ	「ィアと個人情報				
第8回	11/26	ソフトウェア演	習1	個人情報保護法/マイ	ナンバー					
第9回	12/3	情報発信の技術	<u>j</u> 2	科学論文の構成・書誌	検索					
第10回	12/10	情報発信の技術	, 3	情報の構造化						
第11回	12/17	ソフトウェア演	習2	研究手法の評価						
第12回	1/7	情報発信の技術	j 4	図表作成のルール・数	直の取り扱い					
第13回	1/14	ソフトウェア演	習3	引用と著作権・書誌情報	報の管理					
第14回	1/21	情報発信の技術	報発信の技術 5 Excel の活用							
第15回	1/28	情報発信の技術	<u>;</u> 6	プレゼンテーションの	効果と手段					
履修条(4	情報リテラミ	ノー Ⅰを既に修	得済みであること。						
予習・彳	复習	予習範囲を打	旨定する。 復習	はノートを活用すること						
テキス	<u> </u>	指定しない、	必要なレジュ	メを配布する。						
参考書	・参考資料等	授業を進める	る中で随時紹介	する。						
学生に対	学生に対する評価 20%)などにより総合的に評価する。									
		1								

授業		履修年次: 単位数: 担当教員名:									
				=							
科目名	情報倫	-	必修:理学1年		1 単位 15 時間		佐久間貴士				
	Information	n Ethics	選択 : 他学科・	全字件	コード: LAC20)4	(研究室:A棟402)				
[DP]	実践に必要	な知識,	倫理観とプロス	フェッシ	ョナリズム, VII 🖆	E涯に	わたる探究心と自己研鑽				
〔授業	の到達目標及	びテーマ)								
・現	生の情報モラ	ルの実態、	およびこれまで	で受けて	きた情報教育内容	彩につ	いて知る。(知識)				
・情報	服を扱う上で	発生する、	さまざまな事件	や事象	とそれに対応した	法規	制について知る。(知識)				
・情報	暇端末を例に	して自己	防衛のためのセキ	キュリテ	ィの基礎を身につ	ける	。(技能)				
・情報	服を扱う場合	の倫理性な	を獲得し、自分の	の身を守る	るような習慣を身	記つ	ける。(態度・習慣)				
〔授業	の概要〕										
情報	情報リテラシーはソフトウェア技能やコンピュータ操作能力を指すだけではない。高度情報社会で										
生きてい	きていくために、情報を扱う上で発生するさまざまな法規制や、新たな IT の出現による非社会的行										
動の増加	の増加への対応能力も含まれる。この講義では情報モラルやセキュリティの基礎を身につけ、これか										
	の職業人として必要な情報についての倫理性獲得を目標とする。										
キーワ・	キーワード:情報モラル、個人情報保護、著作権、自己防衛										
〔授業											
回数	回数 日付 テーマ 内容										
第1回	11/21	情報モラノ	レとは何か1	モラルと	こ法、情報と法、高橋	交まで	の扱い(0.5コマ)				
第2回	11/28	情報モラノ	レとは何か2	個人情報	保護法、何を守る ⁄	べきか	・/ なぜ守るべきか				
第3回	12/5	情報モラノ	レとは何か3	著作権法	は、何を守るべきか.	/ なぜ	守るべきか				
第4回	12/12	セキュリ	ティの基礎1	セキュリ	リティとは何か/何?	を使っ	て何を守るか				
第5回	12/19	セキュリ	ティの基礎2	セキュリ	リティとは何か / なけ	ぎ使う	のか				
第6回											
第7回	1/23	1/23 情報倫理の実態 1 情報漏洩事件の収集と検討									
第8回	1/30	情報倫理の	 D実態2	職業人と		まとめ					
履修条	4	情報し	lテラシー I を既	に修得家	音みであること。						
予習・彳	复習	予習と	して時事問題を	指定する	ることがある。復	習ば	受業内容を確認すること。				
テキス	テキスト 指定しない、最新事例を扱ったプリント資料を用意する。										
参考書	参考書・参考資料等 授業を進める中で随時紹介する。										
学生に対	付する評価	提出物	列(40%)、学習態度	度(20%)、	レポート(40%)	こより	り総合的に評価する。				

授業			屋收生为,		出合新		也业物吕夕.			
投票科目名		/ . \/	履修年次: 2 年次以上		単位数 1 単位	. 15 時間	担当教員名: 極本	和幸		
竹日石		統計学		半年						
	(Practical	Statistics)	選択 : 全学科・	子干	コード	LAC201	(研究至	A209)		
(DP)	実践に必	要な知識 ,	生涯にわたる探知	究心と	自己研鑽					
〔授業	の到達目標及	びテーマ〕								
・複	数の要因が絡	み合ったデーク	タの処理方法を知	ය. (ජ	知識)					
・デ	ータ処理方法	(入力から結野	果の示し方まで)	を身に	着ける。	(技能)				
・必要	要なデータ処	理方法を選択て	できる。(技能)							
・必要	要に応じてソ	フトウェアを	吏うことができる	。(技	能)					
・先行	行研究から、	必要なデータダ	心理を読み取り、	その内	容を調く	べる。(態度	愛・習慣)			
〔授業	の概要〕									
この	授業では、受講者の自発的かつ積極的な学びを重視する。受講者は中学校及び高校の数学、大学									
の統計	学での学びを	学びを活かして、ある事象を記述・整理することを目指す。このために必要な統計的検定								
を学び、	実際のデータを処理する。そして、データの収集方法を考案し実行する。さらに、その結果を									
読み取	取って報告する。									
キーワ	Fーワード:データ解析、統計的検定、統計用ソフトウェア									
〔授業	〔授業計画〕									
回数	1 日付	テー	ব			内	容			
第1回	8/9	知りたいことは	何か リサ	ーチ・	ウエスチョ	ンを持ち、(反説を立てる。			
第2回	8/9	データ収集方法	の考案1 仮説	を検証	するための	方法を考える	3.			
第3回	8/9	データ収集方法	の考案2 仮説	を検証	するための	方法を考える	3.			
第4回	8/9	データ収集	考え	た方法	こ基づいて	データを収集	耒する。			
第5回	8/13	データ入力	収集	したデ	-タをソフ	トウェアに	入力する。			
第6回	8/13	データ分析	רע	トウェ	アを用いて	データを分材	斤する。			
第7回	8/13	データ分析	データ分析 ソフトウェアを用いてデータを分析する。							
第7.5回	8/13	まとめ	分析	結果を語	売み取る。					
履修条	条件 統計学であることが望ましい。									
予習・	复習	予習:「統語	計学」の資料やノ	/ートを	読みこす	〕。復習:	データ処理を詰	式行する。		
テキス	テキスト 指定しない。配布資料を用意する。									
参考書	参考書・参考資料等 指定しない。授業の中で適宜紹介する。									
学生に	対する評価	講義内課題	50%、提出物 50	0%						

授業			履修年次		1 畄位 20 咕明	<u> </u>				
科目名	英語	I(講読)		、 選抓 [攻1~4年	1単位30時間					
	(Reading)		土子竹特	-攻1~4井	コード: LAD101					
	``````````````````````````````````````					(非常勤講師室)				
(DP)	コミュニ	ケーション能力	実践	に必要な知	識 生涯にわ	たる探求心と自己研鑽				
〔授業の	到達目標及	びテーマ〕								
本授業で	は、英語読	解力の強化を目相	標に、以下	のテーマで	講義を進めていく	、。 英語という言語の構造				
をしっか	りと理解し	、英語読解力の	増強を図る	5。 上記は	こ加え、題材から	異文化への理解も深める。こ				
のことは	外国人と接	する際に心得て	おくべき要	騕素を含む。						
〔授業の	概要〕									
ある程度の分量の英語で書かれた文章を読んで、ただ単に英文を日本語に訳すのではなく、内容を理解										
すること	を目的とす	る。その際、スラ	ラッシュリ	ーディング	やパラグラフリー	・ディングという手法を学び、				
なるべく	速く著者の	メッセージを理	解できる。	<b>にする。</b>						
キーワード:英文ストラクチャー、基本文法、スラッシュリーディング、パラグラフリーディング										
〔授業計	画〕									
回数	日付	テー	マ		内	容				
第1回	4/8	ガイダンス		履修の準備	載、受講に関する	注意事項など				
第2回	4/15     Unit 1     履修の準備、受講に関する注意事項など									
第3回	回 4/22 Unit 2 英文構造の確認 2・教科書の内容理解									
第4回	第4回 5/13 Unit 3: 英文構造の確認 3・教科書の内容理解									
第5回	5/20	Unit 5	Unit 5 英文構造の応用1・教科書の内容理解							
第6回	5/27	Unit 6		英文構造(	D応用2・教科書	の内容理解				
第7回	6/3	Unit 6		英文構造(	D応用3・教科書	の内容理解				
第8回	6/10	Unit 8		英語を英語	雨の語順のままで	の理解への展開1・内容理解				
第9回	6/17	Unit 8		英語を英語	雨の語順のままで	の理解への展開2・内容理解				
第10回	6/24	Unit 9		英語を英語	唇の語順のままで	の理解への展開3・内容理解				
第11回	7/1	Unit 10		速読への限	<b>誤開1・速読での</b>	教科書の内容理解				
第12回	7/8	Unit 11		速読への限	ようして、「現代」の ないて、「現代」の は、 して、 し、	教科書の内容理解				
第13回	7/22	Unit 12:		速読への限	展開3・速読での	教科書の内容理解				
第14回	第14回 7/29 復習 授業全体を通したまとめ									
第15回	7/30	期末試験		<u> </u>						
履修条件 特になし										
予習・復	予習・復習 授業でカバーしたことの復習は必須です。単語テストを行います。									
「Life in a Multi-lingual and Multi- Cultural Society」グローバル時代の テキスト 異文化コミュニケーション 朴シウォン 杉田めぐみ 小坂貴志 Daniel K. Goldner (KENKYUSHA)										
参考書・	参考書・参考資料等 指定しない。授業の中で適宜紹介する。									
学生に対	する評価	授業内態度	20% <u>/</u>	トテスト2(	0%、定期試験6	50%				

100 114		- \								
授業	英語I(講詞	-	履修年次:選択:			担当教員名:				
科目名	English I (Re		全学科1~4年	コード	: LAD101	神田みなみ				
	作業1年	理学1年				(研究室 図書館棟5)				
(DP)	コミュニク	アーション能力	, 実践に必要な	\$知識,	生涯にわ	たる探究心と自己研鑽				
〔授業の	の到達目標及	びテーマ〕								
高校ま	でに身につけ	た語彙・熟語・	英文法を活用しな	がら , 英語	を英語のま	ま理解できるレベルまで英				
語力を「	句上させるこ	とを目標し , 大	量の英文インプッ	トをめざす	英語多読を	至行う.				
1) 基本	トレベルの英	文を毎分 120 語	以上で読み,概要で	を把握でき	る.					
2) 基本	トレベルの英	文を連続して 20	分以上あるいは2	500 語以上	の本を一気	記に読むことができる.				
3) 英語	18週で用いら	れる常識的な英語	語表現・英単語を	身につける	•					
〔授業の	の概要〕授業	では大学図書館	の蔵書およびオン	ライン・ラ	イブラリー	・を利用して英語読み物シリ				
ーズを待	ーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は,シリーズ名,読書レベル,語数を「多									
読記録.	読記録」として記録し,自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のま									
ま英語を	を読む感覚を	身につけ,徐々	に長い本を読むこ	とにつなけ	る.					
キーワ	キーワード:英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習									
〔授業詞										
回数	日付	テーマ     内容								
第1回	4/9	4/9 Course Introduction 授業の概要説明,英語力チェックテスト								
第2回 4/16 多読ガイダンス 多読三原則,辞書の使い方,読書レベル・語彙力とは										
第3回										
第4回	4/30	英語多読シリ-	-ズ紹介 読みや	すさレベノ	(YL) , Lev	veled Readers (LR)				
第5回	5/7	多読の進め方	Graded	Readers (G	R),レベル	√0~1のGR,LR シリーズ				
第6回	5/14	読書体力をつけ	1冊 40	0 語未満	1000 語前	後のレベル1~2				
第7回	5/21	ノンフィクショ	ョン英語 科学・	健康などに	こついてのす	英語の読み物				
第8回	5/28	レベルの上げが	GR, LR	のレベル	別シリーズ	紹介 , 多読の壁				
第9回	6/4	GR をさらに読	むういう読書速	度と単語・	・文法レベノ	レ,日本語に訳さずに読む				
第10[	回 6/11	授業内多読	読書体	力 , 聞き詞	売み , 朗読音	音源付き GR 紹介				
第11[	回 6/18	授業内多読	授業内	多読 , GR	,LR シリー	ズ紹介				
第12回   6/25   授業内多読   授業内多読 , レベルアップ方法 , GR, LR シリーズ紹介										
第13[	1 3 回   7/2   授業内多読 授業内多読 , GR, LR シリーズ紹介									
第14[	回 7/9	読書スピード0	D計測 授業内	多読,読書	記録の確認	刀				
第15[	回 7/16	まとめ	総復習							
履修条件	4	なし								
予習・彳	复習	週7冊以上洋	羊書を読み , 読書!	リスト・語	彙・表現メ	モを記録する .				
テキス	<u> </u>		マガジン 2024年4 ) 万語! 読書記録手							
参考書	参考書・参考資料等 指定しない.授業の中で適宜紹介する.									
学生に対	付する評価	授業内課題(	授業態度・Teams	課題含む)	30%,宿題	ē・読書記録 40%,試験 30%				

	1-1-11		<b>-</b> .			-+					
		•			1 単位3	30 時間					
(DP)         コミュニケーション能力,実践に必要な知識,生涯にわたる探究心と自己研鑽           (授業の到達目標及びテーマ)         高校までに身につけた語彙・熟語・英文法を活用しながら,英語を英語のまま理解できるレベルまです           高校までに身につけた語彙・熟語・英文法を活用しながら,英語を英語のまま理解できるレベルまです           1)         基本レベルの英文を目標し,大量の英文インブットをめざす英語多読を行う.           1)         基本レベルの英文を連続して20分以上あるいは2.500 語以上の本を一気に読むことができる.           3)         英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける.           (授業の概要)         授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は、シリーズ名,読書レベル,語数を「多読記録」として記録し,自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のおま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.           キーワード:英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習         (授業計画)           回数         日付         テーマ           「クロッド、英語,リーディング,多読、グレイディッドリーダーズ,語量学習         (授業計画)           回数         日付         テーマ           第2回         4/19         多読の読み方           第1回         4/12         Course Introduction         授業の概要説明,英語カチェックテスト           第2回         4/19         多読の読み方         読書スピード,英語多読の記録, 語彙、表現と辞書           第4回         5/10         英語参加をついての英語の読み         第3アロックテスト           第5回         5/17         多読の読み方         「読書法内でしていての支払う読み           第8回         6/7         レベルレルレノン        レベルレーン           第5回         5/24         読書体力をつける         「冊 400 語未満, 000 語前後ので込み, 200 読み           第10回         6/24	科目名		ading)	全字科1~4年	コード	: LAD101					
<ul> <li>【授業の到達目標及びテーマ】</li> <li>高校までに身につけた語彙・熟語・英文法を活用しながら,英語を英語のまま理解できるレベルまで発 語力を向上させることを目標し,大量の英文インプットをめざす英語多読を行う.</li> <li>1) 基本レベルの英文を毎分 120 語以上で読み,概要を把握できる.</li> <li>2) 基本レベルの英文を連続して20 分以上あるいは2,500 語以上の本を一気に読むことができる.</li> <li>3) 英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける.</li> <li>【授業の概要】授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる。読んだ本は,シリーズ名,読書レベル,語数を「多読記録」として記録し,自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のおま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.</li> <li>キーワード:英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習</li> <li>【授業計画】</li> <li>回数日付 テーマ 内 容</li> <li>第1回 4/12 Course Introduction 授業の概要説明,英語カチェックテスト</li> <li>第2回 4/19 多読ガイダンス 多読三原則,辞書の使い方,読書レベル・語彙力とは</li> <li>第3回 4/26 多読の読み方 読書スピード,英語多読の記録,話彙・表現と辞書</li> <li>第4回 5/10 英語多読シリーズ紹介</li> <li>第4回 5/10 英語をつける</li> <li>【日本400 読み方 Crade Readers (IR)</li> <li>第5回 5/17 多読の進め方 Crade Readers (CR), レベルレーの GR, LR シリーズ</li> <li>第6回 5/24 読書体力をつける</li> <li>第10回 6/21 授業内多読 授業内多読, ビベルアップ方法,GR, LR シリーズ紹介</li> <li>第11回 7/12 授業内多読 授業内多読, CR, LR シリーズ紹介</li> <li>第13回 7/12 授業内多読 授業内多読, CR, LR シリーズ紹介</li> <li>第13回 7/12 授業内多読</li> </ul>		看護1年					(研究室) 図書館棟5)				
高校までに身につけた語彙・熟語・英文法を活用しながら,英語を英語のまま理解できるレベルまです         語力を向上させることを目標し,大量の英文インブットをめざす英語多読を行う.         1) 基本レベルの英文を毎分120 語以上で読み,概要を把握できる.         2) 基本レベルの英文を毎分120 語以上で読み,概要を把握できる.         3) 英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける.         [授業の概要] 授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は,シリーズ名,読書レベル,語数を「多読記録」として記録し,自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のまま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.         キーワード: 英語, リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習         [授業計画]         回数       日付         ク       客         第1回       4/12         Course Introduction       授業の概要説明,英語力チェックテスト         第2回       4/19       多読ガイダンス         多読の読み方       読書スピード,英語多読の記録, 語彙・表現と辞書         第4回       5/10       英語多読シリーズ紹介         第5回       5/17       多読の読み方         第4回       5/24       読書体力をつける         第4回       5/31       パンフィクション英語         第4回       5/31       パンフィクション英語         第4回       6/7       レベルの上げ方         第8回       6/7       レベルの上げ方         第1回       6/24       読書小の多読         第2回       6/14       GR をさらに読む         第1回       5/31       パンフィクション英語         第2回       6/7       レベルレークシーズ紹介, 多読の壁         第9回	(DP)	コミュニク	ケーション能力	, 実践に必要な	\$知識,	生涯にわ	たる探究心と自己研鑽				
<ul> <li>語力を向上させることを目標し、大量の英文インブットをめざす英語多読を行う.</li> <li>1) 基本レベルの英文を毎分120 語以上で読み、概要を把握できる.</li> <li>2) 基本レベルの英文を連続して 20 分以上あるいは 2,500 語以上の本を一気に読むことができる.</li> <li>3) 英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける.</li> <li>【授業の概要】授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は、シリーズ名、読書レベル、語数を「多読記録」として記録し、自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のおま英語を読む感覚を身につけ、徐々に長い本を読むことにつなげる.</li> <li>キーワード:英語、リーディング、多読、グレイディッドリーダーズ、語彙学習</li> <li>【授業計画】</li> <li>回数日付 テーマ 内 容</li> <li>第1回 4/12 Course Introduction 授業の概要説明、英語力チェックテスト</li> <li>第2回 4/19 多読ガイダンス 多読三原則、辞書の使い方、読書レベル・語彙力とは</li> <li>第3回 4/26 多読の読み方 読書スピード、英語多読の記録、語彙・表現と辞書</li> <li>第4回 5/10 英語多読シリーズ紹介 読みやすさレベル(YL)、Leveled Readers (LR)</li> <li>第5回 5/17 多読の進め方 Graded Readers (CR)、レベルレローズ のGR.LR シリーズ</li> <li>第6回 5/24 読書体力をつける 1冊 400 語未満、1000 語前後のレベルレー2</li> <li>第7回 5/31 ノンフィクション英語 科学・健康などについての英語の読み物</li> <li>第8回 6/7 レベルの上げ方 GR.LR のレベルル、日本語に訳さずに読む</li> <li>第1 2回 7/5 授業内多読 授業内多読、保.LR シリーズ紹介</li> <li>第1 3回 7/12 授業内多読 授業内多読、保.LR シリーズ紹介</li> <li>第1 4回 7/19 読書スピードの計測 授業内容読、GR.LR シリーズ紹介</li> </ul>	〔授業の	の到達目標及	びテーマ〕								
<ol> <li>基本レベルの英文を毎分 120 語以上で読み,概要を把握できる.</li> <li>基本レベルの英文を連続して 20 分以上あるい 14 2,500 語以上の本を一気に読むことができる.</li> <li>英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける.</li> <li>【授業の概要)授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は,シリーズ名,読書レベル,語数を「多読記録」として記録し,自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のまま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.</li> <li>キーワード:英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習</li> <li>【授業計画】</li> <li>図数日付 テーマ</li> <li>内容</li> <li>第1回 4/12 Course Introduction 授業の概要説明,英語力チェックテスト</li> <li>第3回 4/26 多読の読み方</li> <li>読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書</li> <li>第4回 5/10 英語多読シリーズ紹介</li> <li>第5回 5/17 多読の進め方</li> <li>Graded Readers (GR),レベル0~10 GR,LR シリーズ</li> <li>第6回 6/7 レベルの上げ方</li> <li>GR,LR のレベル別シリーズ紹介,多読の壁</li> <li>第9回 6/14 GR をさらに読む</li> <li>読書連度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む</li> <li>第10回 6/21 授業内多読</li> <li>授業内多読, グスルク、(GR, LR シリーズ紹介)</li> <li>第12回 7/5 授業内多読</li> <li>授業内多読, GR, LR シリーズ紹介</li> <li>第13回 7/12 授業内多読</li> <li>授業内多読, GR, LR シリーズ紹介</li> <li>第14回 7/19</li> <li>読書スピードの計測</li> <li>授業内多読, GR, LR シリーズ紹介</li> </ol>	高校まで	でに身につけ	た語彙・熟語・	英文法を活用しなれ	がら , 英語	を英語のま	ま理解できるレベルまで英				
<ul> <li>2) 基本レベルの英文を連続して20分以上あるい1は2,500 語以上の本を一気に読むことができる.</li> <li>3) 英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける.</li> <li>(「授業の概要) 授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は,シリーズ名,読書レベル,語数を「多読記録」として記録し,自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のおま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.</li> <li>キーワード:英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習</li> <li>(授業計画)</li> <li>回数日付 テーマ 内 容</li> <li>第10回 4/12 Course Introduction 授業の概要説明,英語力チェックテスト</li> <li>第3回 4/26 多読の読み方 読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書</li> <li>第4回 5/10 英語多読シリーズ紹介 読みやすさレベル(YL),Leveled Readers (LR)</li> <li>第5回 5/17 多読の進め方 Graded Readers (GR),レベルレー1の GR,LR シリーズ</li> <li>第6回 5/24 読書体力をつける 1冊 400 語未満,1000 語前後のレベル1-2</li> <li>第7回 5/31 ノンフィクション英語 科学・健康などについての英語の読み物</li> <li>第8回 6/7 レベルの上げ方 GR,LR のレベル別シリーズ紹介,多読の壁</li> <li>第9回 6/14 GR をさらに読む 読書速度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む</li> <li>第11回 6/28 授業内多読 授業内多読,GR,LR シリーズ紹介</li> <li>第12回 7/5 授業内多読 授業内多読,GR,LR シリーズ紹介</li> <li>第13回 7/12 授業内多読 授業内多読,GR,LR シリーズ紹介</li> <li>第14回 7/19 読書スピードの計測 授業内多読,GR,LR シリーズ紹介</li> </ul>	語力を「	句上させるこ	とを目標し,大	量の英文インプッ	トをめざす	英語多読を	行う.				
<ul> <li>3) 英語圏で用いられる常識的な英語表現・英単語を身につける.</li> <li>【授業の概要】授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は、シリーズ名,読書レベル,語数を「多読記録」として記録し、自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のまま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.</li> <li>キーワード:英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習</li> <li>【授業計画】 <ul> <li>四数日付 テーマ</li> <li>内容</li> <li>第1回</li> <li>4/12 Course Introduction 授業の概要説明,英語カチェックテスト</li> <li>第2回4/19 多読ガイダンス</li> <li>多読三原則,辞書の記を読しい・語彙力とは、第3回4/26 多読の読み方</li> <li>読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書</li> <li>第4回5/10 英語多読シリーズ紹介</li> <li>読みやすさレベル(YL), Leveled Readers (LR)</li> <li>第5回5/17 多読の進め方</li> <li>Graded Readers (GR),レベル0-1の GR, LR シリーズ</li> <li>第6回5/24 読書体力をつける</li> <li>1冊 400 語未満,1000 語前後のレベル1~2</li> <li>第7回5/31 ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物</li> <li>第10回6/21 授業内多読</li> <li>読書体力,聞き読み,明読音源付き GR 紹介</li> <li>第11回6/28 授業内多読</li> <li>授業内多読, GR, LR シリーズ紹介</li> <li>第12回7/5 授業内多読,授業内多読, GR, LR シリーズ紹介</li> <li>第13回7/12 授業内多読</li> <li>授業内多読, GR, LR シリーズ紹介</li> <li>第13回7/12 授業内多読</li> <li>授業内多読, GR, LR シリーズ紹介</li> </ul> </li> </ul>	1) 基本	トレベルの英	文を毎分 120 語	以上で読み,概要な	を把握でき	る.					
<ul> <li>【授業の概要〕授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は,シリーズ名,読書レベル,語数を「多読記録」として記録し,自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のまま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.</li> <li>キーワード:英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習</li> <li>(授業計画)</li> <li>回数日付テーマ 内容</li> <li>第1回4/12 Course Introduction 授業の概要説明,英語カチェックテスト</li> <li>第2回4/19 多読ガイダンス 多読三原則,辞書の使い方,読書レベル・語彙力とは</li> <li>第3回4/26 多読の読み方読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書</li> <li>第4回5/10 英語多読シリーズ紹介 読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書</li> <li>第4回5/10 英語多読シリーズ紹介</li> <li>第5回5/17 多読の進め方</li> <li>Graded Readers (GR),レベルレの-1のGR,LRシリーズ</li> <li>第6回5/24 読書休力をつける1冊400 語未満,1000 語前後のレベル1~2</li> <li>第7回5/31 ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物</li> <li>第8回6/7 レベルの上げ方GR,LR のレベル別シリーズ紹介,多読の壁</li> <li>第9回6/14 GR をさらに読む</li> <li>読書強度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む</li> <li>第10回6/21 授業内多読 授業内多読,GR,LR シリーズ紹介</li> <li>第12回7/5 授業内多読 授業内多読,GR,LR シリーズ紹介</li> <li>第13回7/12 授業内多読</li> </ul>	2) 基本	トレベルの英	文を連続して 20	分以上あるいは2,	500 語以上	この本を一気	気に読むことができる.				
ーズを各自のペースで読書することが中心になる.読んだ本は,シリーズ名,読書レベル,語数を「多読記録」として記録し,自分の英語読書ペースを振り返ってもらう.最初は短い本ですらすら英語のまま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.         キーワード: 英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習         (授業計画)         回数日付テーマ       内容         第1回4/12       Course Introduction         授業の概要説明,英語力チェックテスト         第2回4/19       多読ガイダンス         多読の読み方       読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書         第4回       5/10       英語多読シリーズ紹介         第5回       5/17       多読の進め方         Graded Readers (GR),レベルレ0~10 GR,LRシリーズ       第6回         第7回5/24       読書体力をつける         第8回       6/7       レベルの上げ方         GR,LR のレベル別シリーズ紹介       読書体力, 聞き読み、明読音源付き GR 紹介         第10回       6/24       授業内多読         第10回       6/21       授業内多読         第10回       6/21       授業内多読         第110回       6/28       授業内多読         第12回       7/5       授業内多読         第13回       7/12       授業内多読         授業内多読,GR,LR シリーズ紹介       第書に録っの読         第13回       7/12       授業内多読         第13回       7/12       授業内多読         1110回       7/19       読書スピードの計測	3) 英語	<b>圏で用いら</b>	れる常識的な英語	語表現・英単語を身	身につける	•					
読記録」として記録し、自分の英語読書ペースを振り返ってもらう、最初は短い本ですらすら英語のまま英語を読む感覚を身につけ、徐々に長い本を読むことにつなげる.         キーワード:英語,リーディング、多読、グレイディッドリーダーズ、語彙学習         [授業計画]         回数       日付         9       日付         第1回       4/12         Course Introduction       授業の概要説明、英語力チェックテスト         第2回       4/19       多読ガイダンス         第3回       4/26       多読の読み方         第5回       5/10       英語多読シリーズ紹介         第5回       5/17       多読の進め方         第6回       5/24       読書体力をつける         11       40       11         第8回       6/7       レベルの上げ方         第8回       6/7       レベルの上げ方         第10回       6/21       授業内多読         第11回       6/28       授業内多読         第2回       6/14       GR をさらに読む         第3回       6/7       レベルの上げ方         GR.LR のレベル別シリーズ紹介       5読書)       5mg         第10回       6/14       GR をさらに読む         第書速度と単語・文法レベル       14       日本語に訳さずに読む         第11回       6/28       授業内多読       授業内多読         第11回       6/28       授業内多読       授業内多読         第12回       7/5       授業内多読       授業内多読         第1	〔授業の	〔授業の概要〕授業では大学図書館の蔵書およびオンライン・ライブラリーを利用して英語読み物シリ									
ま英語を読む感覚を身につけ,徐々に長い本を読むことにつなげる.キーワード:英語,リーディング,多読,グレイディッドリーダーズ,語彙学習[授業計画]回数日付テーマ内容第1回4/12Course Introduction授業の概要説明,英語力チェックテスト第2回4/19多読ガイダンス多読三原則,辞書の使い方,読書レベル・語彙力とは第3回4/26多読の読み方読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書第4回5/10英語多読シリーズ紹介Graded Readers (GR), レベル0~1の GR, LR シリーズ第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR), レベル0~1の GR, LR シリーズ第6回5/24読書体力をつける1 冊 400 語未満, 1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル, 日本語に訳さずに読む第110回6/21授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第12回7/15授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読, jimalia	ーズを各自のペースで読書することが中心になる . 読んだ本は , シリーズ名 , 読書レベル , 語数を「多										
キーワード: 英語, リーディング, 多読, グレイディッドリーダーズ, 語彙学習回数日付テーマ内回数日付テーマ内第1回4/12Course Introduction授業の概要説明, 英語カチェックテスト第2回4/19多読ガイダンス多読二原則, 辞書の使い方, 読書レベル・語彙力とは第3回4/26多読の読み方読書スピード, 英語多読の記録, 語彙・表現と辞書第4回5/10英語多読シリーズ紹介読みやすさレベルVL), Leveled Readers (LR)第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR), レベル0~1の GR, LR シリーズ第6回5/24読書体力をつける1冊 400 語未満, 1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書本力, 聞き読み, 朗読音源付き GR 紹介第11回6/28授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読, 読書記録の確認	読記録	」として記録	し,自分の英語	読書ペースを振り	反ってもら	う.最初は	短い本ですらすら英語のま				
【授業計画〕回数日付テーマ内容第1回4/12Course Introduction授業の概要説明,英語力チェックテスト第2回4/19多読ガイダンス多読三原則,辞書の使い方,読書レベル・語彙力とは第3回4/26多読の読み方読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書第4回5/10英語多読シリーズ紹介第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR),レベルレー1のGR,LRシリーズ第6回5/24読書体力をつける1冊400 語未満,1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR,LRのレベル別シリーズ紹介,多読の壁第9回6/14GR をさらに読む第10回6/21授業内多読行り多読授業内多読,GR,LRシリーズ紹介第12回7/5授業内多読授業内多読,GR,LRシリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読,GR,LRシリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読,読書記録の確認	ま英語な	を読む感覚を	身につけ,徐々	に長い本を読むこの	とにつなけ	「る.					
回数日付テーマ内容第1回4/12Course Introduction授業の概要説明,英語力チェックテスト第2回4/19多読ガイダンス多読三原則,辞書の使い方,読書レベル・語彙力とは第3回4/26多読の読み方読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書第4回5/10英語多読シリーズ紹介読みやすさレベル(YL), Leveled Readers (LR)第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR),レベルレ0~1の GR,LR シリーズ第6回5/24読書体力をつける1冊 400 語未満,1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR,LR のレベル別シリーズ紹介,多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む第11回6/28授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読,GR,LR シリーズ紹介	キーワー										
第1回4/12Course Introduction授業の概要説明,英語力チェックテスト第2回4/19多読ガイダンス多読三原則,辞書の使い方,読書レベル・語彙力とは第3回4/26多読の読み方読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書第4回5/10英語多読シリーズ紹介読みやすさレベル(YL), Leveled Readers (LR)第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR), レベル0~1 の GR, LR シリーズ第6回5/24読書体力をつける1冊 400 語未満, 1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む第11回6/28授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読, 読書記録の確認	〔授業詞										
第2回4/19多読ガイダンス多読三原則,辞書の使い方,読書レベル・語彙力とは第3回4/26多読の読み方読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書第4回5/10英語多読シリーズ紹介読みやすさレベル(YL), Leveled Readers (LR)第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR),レベル0~1の GR, LR シリーズ第6回5/24読書体力をつける1冊 400 語未満,1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む第11回6/28授業内多読授業内多読,GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読,GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読,GR, LR シリーズ紹介	回数	日付	テ ー マ 内 容								
第3回4/26多読の読み方読書スピード,英語多読の記録,語彙・表現と辞書第4回5/10英語多読シリーズ紹介読みやすさレベル(YL), Leveled Readers (LR)第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR), レベル0~1のGR, LRシリーズ第6回5/24読書体力をつける1冊 400 語未満, 1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル, 日本語に訳さずに読む第10回6/21授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読, GR, LR シリーズ紹介	第1回	4/12	Course Introduc	Course Introduction 授業の概要説明,英語力チェックテスト							
第4回5/10英語多読シリーズ紹介読みやすさレベル(YL), Leveled Readers (LR)第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR), レベル0~1の GR, LR シリーズ第6回5/24読書体力をつける1冊 400 語未満, 1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル, 日本語に訳さずに読む第10回6/21授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第12回7/5授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読, 読書記録の確認	第2回	4/19									
第5回5/17多読の進め方Graded Readers (GR), レベル0~1の GR, LR シリーズ第6回5/24読書体力をつける1 冊 400 語未満, 1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル, 日本語に訳さずに読む第10回6/21授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第12回7/5授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読, 読書記録の確認	第3回										
第6回5/24読書体力をつける1冊 400 語未満,1000 語前後のレベル1~2第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR,LR のレベル別シリーズ紹介,多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む第10回6/21授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第11回6/28授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読,読書記録の確認	第4回	5/10	英語多読シリー	-ズ紹介 読みや	すさレベノ	(YL), Lev	veled Readers (LR)				
第7回5/31ノンフィクション英語科学・健康などについての英語の読み物第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル, 日本語に訳さずに読む第10回6/21授業内多読読書体力, 聞き読み, 朗読音源付き GR 紹介第11回6/28授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第12回7/5授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読, 読書記録の確認	第5回	5/17	多読の進め方	Graded	Readers (G	R),レベル	√0~1のGR,LR シリーズ				
第8回6/7レベルの上げ方GR, LR のレベル別シリーズ紹介, 多読の壁第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む第10回6/21授業内多読読書体力,聞き読み,朗読音源付き GR 紹介第11回6/28授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第12回7/5授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読,読書記録の確認	第6回	5/24	読書体力をつけ	1冊 40	0 語未満 ,	, 1000 語前	後のレベル1~2				
第9回6/14GR をさらに読む読書速度と単語・文法レベル,日本語に訳さずに読む第10回6/21授業内多読読書体力,聞き読み,朗読音源付き GR 紹介第11回6/28授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第12回7/5授業内多読授業内多読,レベルアップ方法,GR,LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読,読書記録の確認	第7回	5/31	ノンフィクショ	ョン英語 科学・	健康などは	こついての芽	英語の読み物				
第10回6/21授業内多読読書体力,聞き読み,朗読音源付き GR 紹介第11回6/28授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第12回7/5授業内多読授業内多読,レベルアップ方法,GR,LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読,GR,LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読,読書記録の確認	第8回	6/7	レベルの上げが	ל GR, LR	のレベル	別シリーズ	紹介 , 多読の壁				
第11回6/28授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第12回7/5授業内多読授業内多読, レベルアップ方法, GR, LR シリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読, GR, LR シリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読, 読書記録の確認	第9回	6/14	GR をさらに読	む 読書速	度と単語・	・文法レベノ	▶,日本語に訳さずに読む				
第12回7/5授業内多読授業内多読,レベルアップ方法,GR,LRシリーズ紹介第13回7/12授業内多読授業内多読,GR,LRシリーズ紹介第14回7/19読書スピードの計測授業内多読,読書記録の確認	第10回	回 6/21	授業内多読	読書体	力 , 聞き詞	売み, 朗読電	音源付き GR 紹介				
第13回     7/12     授業内多読     授業内多読, GR, LR シリーズ紹介       第14回     7/19     読書スピードの計測     授業内多読, 読書記録の確認	第11回	回 6/28	授業内多読	<mark>.</mark>							
第13回     7/12     授業内多読     授業内多読, GR, LR シリーズ紹介       第14回     7/19     読書スピードの計測     授業内多読, 読書記録の確認	第12回										
••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	第13回	回 7/12									
	第14回	回 7/19	読書スピードの		多読,読書	記録の確認	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~				
	第15回	回 7/26	{	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •							
履修条件なし	履修条件	<del></del>	なし								
予習・復習 週7冊以上洋書を読み,読書リスト・語彙・表現メモを記録する.	予習・行	复習	週7冊以上洋	 羊書を読み , 読書 !	リスト・語	彙・表現メ	モを記録する.				
テキスト 『多聴多読マガジン 2024 年 4 月号』コスモピア 『めざせ 100 万語! 読書記録手帳』コスモピア	テキス										
参考書・参考資料等 指定しない.授業の中で適宜紹介する.	参考書										
学生に対する評価 授業内課題(授業態度・Teams 課題含む)30%, 宿題・読書記録 40%, 試験 30%	学生に対	付する評価				30%,宿題	・読書記録 40%,試験 30%				

授業	英語(す	英会話) 月	፪修年次 選	択	1 単位 30 時間	担当教員名:			
科目名	(Conversati		全学科専攻1		コード:LAD102	Brendyn Lane			
	(conversari 栄養1年					(非常勤講師室)			
				口之中心					
(DP)			浅に必要な決	山武	生涯にわたる探知	氷心と目亡研鎖			
			aia aamman ai	tuation	a and upp notiural n	hroppo and autoropiana. Ctudenta			
						whrases and expressions. Students whedge of basic medical terms.			
				is write	burraring there into	wreuge of basic meuroar terms.			
〔授業の		ministered by a ver	ictu of moth	odo incl	uding role play p	air work, group work discussions			
This course will be administered by a variety of methods including role-play, pair work, group work discussions and various communicative activities. Students will have regular conversation practice in various situations with									
the teacher. キーワード: Fluency / Vocabulary / Attitude / Participation / Communicative Ability									
	-				communicative Abri	i ty			
〔授業計画〕       回数     日付       テーマ     内									
第1回	04/08	Introducing Yourse	lf Self-	Introduc		-			
第2回	······································								
第3回	04/22								
第4回		05/13 MEDICAL PROCEDURES 1 Conversation practice with basic medical treatment.							
	Discussion on free time activities and information exchanging								
第5回	第5回 05/20 Habits & Routines with natural English.								
第6回	05/27	Past Events	Excha	nging ho	oliday experiences	in a natural conversation style.			
第7回	06/03	MEDICAL PROCEDURES	2 Role-	play in	pairs. Symptoms/Ai	Iments and Injuries.			
第8回	06/10	Describing people	Using	adjecti	ives to describe ap	pearance and character.			
第9回	06/17	Talking about plac	es Recom partn	-	places to visit a	and exchanging information with			
第10回	06/24	MEDICAL PROCEDURES	3 Medic	al Role	-play in pairs/grou	ps. Patient / Nurse vocab.			
第11回	07/01	Finding Places		ng loca nd town.	tions and asking f	or information on common places			
					nformation regardir	ng places they have been to and			
第12回	07/08	Past Events			mendations.	- •			
₩4 0 F		Foton Di	Plann	ing futu	ure activities with	friends including activities and			
第13回	07/22	Future Plans	point	s of in	terest.				
第14回	07/29	MEDICAL PROCEDURES	4 Medic	al Role	-play in pairs. – G	eneral topic.			
第15回	07/30	TEST AND FEEDBACH	Role-	play / F	Presentation				
履修条(	<b>4</b>	特になし							
予習・	复習	テキストの予習	習、会話練習	1の準備	; 				
テキス	F	Smart Choice	4 th Edition	Studen	nt Book 1				
参考書	参考書・参考資料等 LIFESAVER Basic English in Medical Situations								
学生に対	対する評価	授業内態度 30	、課題・提	出物 30	%、プレゼンテージ	ション 40%			

授業	英語	(英会話)	履修年次	選択	1単位30時間	担当教員名:			
科目名		rsation)	全学科専	攻1~4年	コード:LAD102	Brendyn Lane			
	-	看護1年				(非常勤講師室)			
(DP)	コミュニケ	ーション能力	実践に加	必要な知識	生涯にわたる				
〔授業の	到達目標及びテー	-マ)							
Students	swill be able t	o communicate in	basic commo	n situation	s and use natural p	hrases and expressions. Students			
will foo	cus on Language	used in common me	dical situa	tions while	building their know	vledge of basic medical terms.			
〔授業の	概要〕								
This cou	urse will be adm	ninistered by a v	variety of m	nethods incl	uding role-play, pa	air work, group work discussions			
and various communicative activities. Students will have regular conversation practice in various situations with									
the teacher.									
キーワー	・ド: Fluency / V	ocabulary / Attit	ude / Part	icipation /	Communicative Abil	i ty			
〔授業計画〕									
回数         日付         テーマ         内容									
第1回	04/12	Introducing You	rself	Self-Intro	ductions and Meetin	gPeople -			
第2回	04/19	Talking about yo	ourself	Exchanging	Information when m	eeting people.			
第3回	04/26	Food Preferences	8	Discussing	different types of	food preferences.			
第4回	05/10	MEDICAL PROCEDU	DICAL PROCEDURES 1 Conversation practice with basic medical treatment.						
第5回	05/17	Discussion on free time activities and information exchanging							
	with natural English.								
第6回	05/24	Past Events			holiday experien	ces in a natural conversation			
				style.					
第7回	05/31	MEDICAL PROCEDU				Ailments and Injuries.			
第8回	06/07	Describing peop	le			appearance and character.			
第9回	06/14	Talking about p	laces	Recommendi partners.	ng places to visit	and exchanging information with			
第10回	06/21	MEDICAL PROCEDU	RES 3	Medical Ro	le-play in pairs/gr	oups. Patient / Nurse vocab.			
第11回	] 06/28	Finding Places		Finding Ic around tow		for information on common places			
				Exchanging information regarding places they have been to and					
第12回	] 07/05	Past Events		making rec	ommendations.				
				Planning f	uture activities w	ith friends including activities			
第13回	] 07/12	Future Plans		and points	of interest.				
第14回	07/19 MEDICAL PROCEDURES 4 Medical Role-play in pairs General topic.								
第15回	] 07/26	TEST AND FEEDB	ACK	Role-play / Presentation					
履修条		特になし							
予習・	复習	テキストの	予習、会話	練習の準備					
テキス	F	Smart Choic	e 4 th Edit	ion Studer	t Book 1				
参考書・参考資料等 LIFESAVER Basic English in Medical Situations									
学生に	対する評価	授業内態度:	30%、課題	・提出物 30	%、プレゼンテーシ	ンヨン 40%			

_										
授業	+++++	++++ +=> > > >	履修年次	選択	1 単位 30	時間	担当教員名:			
科目名	-	講読・記述)	全学科専攻	又1~4年	コード:	LAD103	稻垣三惠子			
	(Academic V	vriting)					(非常勤講師室)			
(DP)		アーション能力	実践に	こ必要な知	識 生	涯にわれ	とる探求心と自己研鑽			
	到達目標及									
			、それに対	する自分	の考えをす	語で記	述できるようにする。英語の			
							バルに受け入れられる) 英語			
							スタイル (書き方) について			
		インストーミン								
〔授業の	概要〕									
まず与えられた英文を読んで理解し、その内容に関してディスカッションをする。さらに、英語におけ										
る文章構成を学ぶことも行い、自分の考えを論理的かつ明確な英語の文章として書けるように練習す										
る。教科	書の一つの	ユニットを2回	回に渡って学	習し、自然	分自身につ	いて、汕	過去の出来事について、描写、			
		ざまなスタイノ								
キーワー	キーワード:アカデミックライティング、ブレインストーミング、論理的な文章、説得力のある文章									
〔授業計	画〕									
回数	日付	付 テーマ 内 容								
第1回	10/7									
第2回	10/21	Chapter 1		WRITING	ABOUT YOU	IRSELF				
第3回	10/28	Chapter 1			"					
第4回	11/11	Chapter 2		WRITING A	BOUT YOUR F	AMILY AN	D FRIENDS			
第5回	11/18	Chapter 2			"					
第6回	11/25	Chapter 3		WRITING	ABOUT YOU	IR ACTIN	/ITIES			
第7回	12/ 2	Chapter 3			"					
第8回	12/9	Chapter 4		GIVING	NSTRUCTIO	NS				
第9回	12/16	Chapter 5		WRITING	ABOUT YOU	IR DAY				
第10回	12/23	Chapter 6		WRITING	DESCRIPTI	ONS				
第11回	1/6	Chapter 7					NG LETTERS			
第12回	1/20	Chapter 8		WRITING	A NARRATI	VE				
第13回 1/27 Chapter 8 "										
第14回	1/29	Chapter 9		WRITING	A NARRATI	VE				
第15回	2/6	Chapter 9			"					
履修条件		特になし								
予習・復	33 6	復習として	指示された	トピックは	こ関する文	章を書き	き、提出する			
テキスト			/RITE 1 A F ICHARD・CHR							
参考書・	参考書・参考資料等 適宜配布									
学生に対	する評価	課題(指示 定期試験5	されたトピ 0%	ックに関す	する文章の	提出)!	50%、			

授業 科目名	英語 ( (Academic	講読・記述 ) Writing)	履修年次 全学科専	選択 攻1~4年	1単位3 コード:	60 時間 LAD103	担当教員名: 稲垣三惠子 (非常勤講師室 )		
(DP)	〔DP〕 コミュニケーション能力 実践に必要な知識 生涯にわたる探求心と自己研鑽								
〔授業の	〔授業の到達目標及びテーマ〕								
			、それに対	する自分の	)考えを芽	語で記述で	できるようにする。英語の		
							レに受け入れられる)英語		
で論理的	的に書けるよ	うに練習すると	ともに、そ	れぞれのシ	ッマンルに	適したスタ	アイル(書き方)について		
も学ぶ。	も学ぶ。また、ブレインストーミングなども行い、より深い思考力も育てる。								
〔授業の概要〕									
まず与え	えられた英文	を読んで理解し	、その内容	に関してテ	「ィスカッ	ションをす	する。さらに、英語におけ		
る文章権	構成を学ぶこ	とも行い、自分	の考えを認	論理的かつ	明確な英	語の文章と	して書けるように練習す		
る。教科	書の一つの	ユニットを2回	に渡って学	習し、自分	自身につ	いて、過去	の出来事について、描写、		
比較、	手紙などさま	ざまなスタイル	のライティ	ングを学ん	でいく。				
キーワ・	ード:アカテ	ミックライティ	ング、ブレ	ィンストー	ミング、	論理的なな	て章、説得力のある文章		
〔授業	計画〕								
回数	な日付	テー	マ			内	容		
第1回	10/ 1	授業ガイダンス	र	授業の概要	説明、う	受講に関する	る注意事項など		
第2回	10/ 8	Chapter 1		WRITING A	BOUT YOL	RSELF			
第3回	10/22	Chapter 1							
第4回	10/29	Chapter 2	hapter 2 WRITING ABOUT YOUR FAMILY AND FRIENDS						
第5回	11/5	Chapter 2							
第6回	11/12	Chapter 3		WRITING A	BOUT YOL	R ACTIVITI	ES		
第7回	11/19	Chapter 3							
第8回	11/26	Chapter 4		GIVING IN	STRUCTIC	NS			
第9回	12/3	Chapter 5		WRITING A	BOUT YOL	ir day			
第10[	回 12/10	Chapter 6		WRITING D	ESCRIPTI	ONS			
第11[	回 12/17	Chapter 7		REAL-LIFE	WRITING	: WRITING	LETTERS		
第12[	回 1/7	Chapter 8		WRITING A	NARRATI	VE			
第13[	回 1/14	Chapter 8							
第14[	回 1/21	Chapter 9		WRITING A	NARRATI	VE			
第15[	回 1/28	Chapter 9							
履修条(	4	特になし							
予習・彳	复習	復習として排	旨示された	トピックに	関する文	章を書き、	 提出する		
テキス	F	READY TO WR KAREN BLANC							
参考書	・参考資料等	這宜配布							
学生に対	対する評価	課題(指示さ	されたトピ	ックに関す	る文章の	提出)5 0	%、定期試験50%		

授業	英語III ( 講	読・記述)	履修年次:選択:	1単位30	)時間	担当教員名:			
科目名	English III		全学科1~4年	コード:		神田みなみ			
	(Reading & V	Vriting)			LAD103	(研究室 図書館棟5)			
(DP)									
	〔授業の到達目標及びテーマ〕 英語を英語のまま理解・表現できるレベルまで英語力を向上させることを目標とする .								
					-	標とする.			
,		-		•		7 (************************************			
			:は3,000 語の本を詰			ぎる .( 央諾歹読 )			
<ol> <li>3) 自然で伝わりやすい英文を書くことができる (英文筆写・Freewriting)</li> <li>〔授業の概要〕</li> </ol>									
			イン・ニノブニリ	大利田」-	ア苯語タギ	ᇂᇂᇨᇗᅠᆇᇑᆂᆀᄴᅆᆡ			
						「多読記録」として記録す まき結ける訓練 Emagymetring			
						書き続ける訓練 Freewriting			
		に用意すること		大品ノイナ	ュノソ記	カ向上をめざす .各自 B5 ノ			
				uritina					
	キーワード:英語,リーディング,多読,Fluency,Freewriting 〔授業計画〕								
回数		 テー	2		内	容			
第1回	10/ 1	-							
第1回	10/ 1	多読ガイダンフ							
第2回	10/ 0	Shift 777		書くこと,					
第3回	10/22	斯福祉 英語多読シリー				eled Readers (LR)			
第4回	10/29	多読の進め方				l Reading (LR)シリーズ紹介			
第5回	11/ 3	 英語多読				i Reading (LR)クリース油川 証明付き GR 紹介			
第7回	11/12	英語多読			07, WIDDUE				
第7回	11/26	英語多読							
第9回	12/ 3	英語多読							
第10		英語多読							
第11		英語多読		授業内多読 					
第12		英語多読	授業内部						
第13		英語多読	授業内部						
第14		読書スピードの		²⁰¹¹ 多読,読書	記録の確認	<u>ي</u>			
第141		まとめ	総復習		山─☆ヘヘフ⊭⋿ロ/	بن 			
履修条件	Ŧ	なし							
予習・行	复習	毎日 15 分以	」上洋書を読み , 読	記録を書	くこと . す	文筆写を毎週行う			
テキス	F	なし . (未購)	入の場合「めざせ1	00 万語!読	書記録手帧	長」コスモピア 660円)			
参考書	・参考資料等	指定しない.	. 授業の中で適宜紹	介する.					
学生に対	対する評価	授業態度(課題	題含む) 30% , Team	s 課題・英	文筆写等術	国 30%,読書記録 40%			

授業		英語	<b>屑修</b> 在`	次選択	1 畄位	30 時間		
科目名	(英語コミ	ス品 (ユニケーション)		,」)、 專攻1~4年		: LAD104	担当教員名:	
	(English	-				. LAD104	稲垣三惠子	
		inication)					(非常勤講師室)	
(DP)		 ニケーション能力	実践	に必要な知識	; 生	涯にわたる	る探求心と自己研鑽	
〔授業	の到達目標及							
			mmunic	ation, with a	an empl	hasis on s	speaking and listening skills.	
		8			-		ency. A major aim of the course	
							n addition, students expand	
existing	g knowledge	e through practicin	ng Englis	sh in realistio	context	ts.		
〔授業	〔授業の概要〕							
The cla	assroom lan	guage is mainly E	nglish a	nd students	will be	encourage	ed to use English as much as	
							s, and will be given frequent	
opportu	unities to sp	eak to the instruct	or.					
キーワ・	ード : Englis	sh communication	、speak	ing and liste	ning ski	lls, Engli	ish confidence	
〔授業計画〕								
回数	女 日付	<b>テーマ</b>	7			内	容	
第1回	10/7	orientation		informatior	n about t	the course	)	
第2回	10/21	Unit 1: Spain		immigratio	n and cu	ustoms cou	unters at the airport	
第3回	10/28	Unit 2: China					nd changing money	
第4回	11/11	Unit 3: Peru		checking in	at the h	notel and f	facilities available at the hotel	
第5回	11/18	Unit 4: Tokyo		talking abo	ut Tokyo	o and the	hometown in Japan	
第6回	11/25	Unit 5: New Yorl	k City	practice asking and giving directions from A to B				
第7回	12/2	Unit 5: New Yorl	k City	practice asking and giving directions from A to B				
第8回	12/9	Unit 7: India		shopping fo	r clothe	S		
第9回	12/16	Unit 10: Camboo	dia	markets and bargaining				
第10[	回 12/23	Unit 6: Antarctio	a	describing health problems and getting advice				
第11[	回 1/6	Unit 8: New Zea	land	excursions and adventurous sports				
第12[	回 1/13	Unit 9: Africa		running into problems				
第13[	回 1/20	Unit 12: Italy		conversatio	n at a re	estaurant		
第14[	回 1/27	Review		units review	V			
第15[	回 2/3	Final examination	on	student pre	sentatio	n		
履修条件 Nothing especially								
予習・	復習	To complete th	ne assigr	nment				
テキス	F	GLOBE TRO	ITERS	" Carmella L	ieske	CENGA	GE Learning	
参考書	・参考資料等	€ English-Japar	nese dict	ionary				
学生に対する評価 English-Japanese dic				ionary				

授業 科目名英語 (英会話) (Conversation)履修年次 選択 全学科専攻1~4年1単位 30 時間 コード:LAD104担当教員名: Brendyn Lane (非常勤講師室)(DP) コミュニケーション能力実践に必要な知識生涯にわたる探求心と自己研鑽〔授業の到達目標及びテーマ〕Students will be able to communicate in basic common situations and use natural phrases and expressions. Students will focus on language used in common medical situations while building their knowledge of basic medical terms.[授業の概要]This agurage will be addinisiated by a unitient of methods including to basic medical terms.									
This course will be administered by a variety of methods including role-play, pair work, group work discussions									
	and various communicative activities. Students will have regular conversation practice in various situations with the teacher.								
		 ocabulary / Attitude / Par	ticipation	/ Communicative Abi	Li tv				
<u> </u>		oousurary / Attribute / Fal		Somurreative ADI					
	日付	テーマ		内	容				
第1回	10/ 4	Talking about experiences.	Describing a		hanging stories with friends.				
 第2回	10/11	Exchanging opinions.	4	music and movies to fr					
第3回	10/18	Talking about personal Experiences.	4		ld like to try and discuss with class				
 第4回	10/25	MEDICAL PROCEDURES 1							
第5回	11/ 1		Describing events. Talking about a special day. Graduation trip. Special time.						
第6回	11/ 8	Talking about special events and celebrations.	Explain a c	Explain a common event held in Japan or of their own experience. Extending conversation practice.					
第7回	11/15	Making suggestions and talking about obligations.	Healthy and	Healthy and unhealthy lifestyles and suggestions to classmates.					
第8回	11/22	MEDICAL PROCEDURES 2	Medical simulation in pairs. Symptoms, ailments and Injuries.						
第9回	11/29	Recounting of events,	Describing a	Describing a time and events in the past.					
第10回	12/6	Describing preferences.	Describe a fa	amous person, friend o	family member				
第11回	12/13	Reporting events.	Discussion a	about school days or act	ivities they were involved in.				
第12回	12/20	MEDICAL PROCEDURES 3	Medical Rol	e-play in pairs/groups.	Common topics.				
第13回	01/10	Talking about past habits.	Talking abo	ut younger days.					
第14回	01/24	Discussing preferences.	Talk about t	heir dream home using	g descriptive vocabulary.				
第15回	01/31	TEST AND FEEDBACK	Role-play/F	Presentation					
履修条件	<del>*</del>	特になし							
予習・行	复習	テキストの予習							
テキス	-	Smart Choice 4 th Edi	tion Stude	ent Book 2					
参考書	・参考資料等	LIFESAVER Basic Eng	lish in Me	dical Situations	;				
学生に対	対する評価	授業内態度 30%、課題	題・提出物	30%、プレゼンテ	ーション 40%				

授業	苦节 (2)	御匠肉茶雪	履修年次:	2単位3		坦当为吕夕.				
	•	健医療英語)	履修中次: 必修:看護2,			担当教員名: 神田 みなみ				
科目名	English for H	lealth Care	必修: <b>自</b> 哉 Z,	コード:	LAD201	砰ロ みなみ (研究室 図書館棟5)				
(DP)	コミュニク	アーション能力	〕, 実践に必	要な知識,	生涯に	わたる探究心と自己研鑽				
〔授業の到達目標及びテーマ〕										
,			<b> <b> </b> </b>							
,			し,英語により減		ることがて	できる.				
3)患者	3)患者・対象者に対して , 英語で声がけができる .									
〔授業の概要〕英国で働く非英語母語話者看護師向けの英語テキストを用いて ,患者受入・呼吸器疾患・										
創傷ケフ	創傷ケア・糖尿病・検体検査・投薬・点滴管理・術前術後ケア・退院支援などの場面での英会話を学習									
する. 🛙	医療現場で用	いられる専門分	分野の用語を覚え	るとともに	,患者や看	護師同士で適切にコミュニケ				
						こと.テキストの設問に回答				
						理解できるようになっており,				
						って学習内容の定着をはかる.				
			crosoft Teams の							
キーワード:看護 nursing,保健医療専門職 health professionals,専門英語 English for Specific Purposes										
回数			テ ー マ 内 容							
第1回	10/2		ientation, Unit 1 授業の概要説明, Patient admissions (患者受入)							
第2回	10/9	Unit 1 (続き)	·			心臓機能,引き継ぎ等の英語				
第3回	10/16	Unit 2, 小テス	•	piratory prob		器疾患)				
第4回	10/23	Unit 3	•	und Care (創						
第5回	10/30	Unit 4, 小テス	·	betes Care (#						
第6回	11/6	Unit 5	·			資),病理検査の英語表現				
第7回	11/13	Unit 6, 小テス		dications (						
第8回	11/20	Unit 6 (続き)	与	薬管理, 薬の	吸収・代譲	謝などの英語表現				
第9回	11/27	Unit 7, 小テス		avenous infus						
第10回		Unit7(続き)	点	<b>簡管理</b> , カニ	ューラ観察	^察 ,水分出納などの英語表現				
第11回	12/11	Unit 8, 小テス	スト5 Pre	-operative pat	ient assessn	nent (術前患者評価)				
第12回	<b>1</b> 2/18	Unit 8 (続き)	術	前看護,血液	循環などの	)英語表現				
第13回	I 1/8	Unit 9, 小テス	くト6 Pos	t-operative pa	atient assessi	ment (術後患者評価)				
第14回	J 1/15	Unit 10	Dis	charge planni	ng(退院支	え援計画), チーム医療				
第15回	I/22	まとめ, 小テ,	スト7 総約	复習						
履修条件	<b>†</b>	なし								
予習・得	國	予習:会話	音声とテキスト	設問 復習	: 会話音声	の聴き込み、専門用語学習				
テキス	~	0	e <i>English for Nu</i> z P. McGarr (200	e		<i>Plus, with 2 Audio CDs.</i> rsity Press.				
参考書	・参考資料等	指定しない	1.授業の中で適	宜紹介する						
学生に文	する評価	授業内課題	・Teams 課題(1	4回)など提	出物 30%,	7 回の小テスト 70%				

授業	苗語 (保住	建医療英語)	履修年次:	2単位30時間	9	担当教員名:		
	English for H		№修:編入3			神田みなみ		
таа		editi edit		コード: LAD	0201	(研究室 図書館棟5)		
〔DP〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽								
〔授業の到達目標及びテーマ〕								
,			用語を理解すること					
-			し,英語により適切		とがで	きる.		
-	3)患者・対象者に対して,英語で声がけができる.							
	〔授業の概要〕							
				-		・呼吸器疾患・創傷ケア・糖		
						の英会話を学習する.医療現		
						切にコミュニケーションを図		
						トの設問に回答することで英		
					-	になっており ,分からない場 F差をけかる		
			こ小テスト(Quiz)を					
キーワード: 看護 nursing,保健医療専門職 health professionals,専門英語 English for Specific Purposes								
〔授業計画〕前半は火曜4時限と11月6日(水)5時限、後半は水曜2時限。 □ 数 日付 テーマ → マ 内 容								
回数 第1回	日付 10/1	•	テーマ     内容       ientation, Unit 1     授業の概要説明, Patient admissions (患者受入)					
 第2回	10/ 1							
 第3回	10/ 8	Unit 1 (続き) Unit 2, 小テス						
 第4回	10/22	Unit 3		ratory problems d Care (創傷ケ				
 第5回	11/ 5	Unit 4, 小テス		tes Care (糖尿病				
	11/ 5	Unit 5						
第0回 第7回	11/12	Unit 6、小テス		cations (投薬)	19144191	且),1内坦仅且07天 <b>山</b> 仅坑		
第7回 第8回	11/12	Unit 6 (続き)			,什늷	 などの英語表現		
第9回 第9回	11/27	Unit 7, 小テス		enous infusions				
第10回		Unit 7 (続き)				ッ/エネリー 水分出納などの英語表現		
第11回		Unit 8, 小テス				mt(術前患者評価)		
第12回		Unit 8 (続き)		field the patient a field for a field of the patient of the patie				
第12回		Unit 9、小テス				ent (術後患者評価)		
第14回		Unit 10				援計画),チーム医療		
第15回		まとめ、小テ、						
履修条件		なし		_				
予習・復			音声とテキスト設	問復習:会調	話音声の	の聴き込み、専門用語学習		
テキスト	-	U	e English for Nurs 2 P. McGarr (2008)	U		<i>us, with 2 Audio CDs.</i> sity Press.		
参考書・	参考資料等		1.授業の中で適宜	0				
学生に対	する評価	授業内課題	夏・Teams 課題(14	回)など提出物	30%, 7	回の小テスト 70%		

授業	英語 (保	健医療英語)	履修年次:	2単位30時	問	担当教員名:			
科目名	English for H	,	必修:栄養2年	コード: LAI		神田みなみ			
	Linghtan for fr				D201	(研究室 図書館棟5)			
(DP)	〔DP〕 コミュニケーション能力, 実践に必要な知識, 生涯にわたる探究心と自己研鑽								
〔授業の到達目標及びテーマ〕									
			門用語を理解するこ	ことができる.					
-			話を理解し , 英語			明ができる.			
-		, 英語で声が							
〔授業の概要〕									
英語圏で働く非英語母語話者の栄養士向けの英語テキストを用いて,専門分野の用語や会話表現を覚									
えると	ともに , 英語	で適切に声が	けをしてコミュニク	アーションを取	収る方法	を学ぶ.Book 1, Book 2, Book			
3に各1	15 ユニット (	全45 ユニット	~)の構成で,本授	業では Book 1	(B1), Be	ook 3 (B3)より第 1~第 14 ユニ			
ット(U	I~U14)の合計	28 ユニットを	学習する.						
オン	ライン版 Di	giBook で予習	(Reading, Vocabu	lary, Listening)	および	回答確認の後、英会話音声			
(Listenir	ng) を聴き込	むこと . 隔週は	こ4 ユニット分の小	ヽテスト (Quiz	)を実施	施し学習内容の定着をはかる.			
キーワ・	ード:栄養士	nutritionist, die	titian, 栄養 nutritio	n , 専門英語 🛛	English f	for Specific Purposes			
〔授業	計画)								
回数	日付	テー	र	内容					
第1回	4/10	B1 U1 & B3 U	B3 U1 概要説明; Fruits and Vegetables; Nutritionist or Dietitian?						
第2回	4/17	B1 U2 & B3 U	1 U2 & B3 U2 Cereal Grains シリアル; Clinical Nutrition 臨床栄養学						
第3回	4/24	Quiz 1; B1 U3	& B3 U3 Meat	肉類; Sports N	utrition	スポーツ栄養学			
第4回	5/1	B1 U4 & B3 U	J4 Poult	y 鳥肉; What t	o Expect	at Your First Appointment			
第5回	5/8	Quiz 2; B1 U5	& B3 U5 Dairy	Products 乳製	品; Diet ]	History 食事歴			
第6回	5/15	B1 U6 & B3 U	J6 Fish 1	魚肉; Food Lab	els 食品	ラベル			
第7回	5/22	Quiz 3; B1 U7	& B3 U7 Bake	ed Goods パン	,焼菓子	^z ; Junk Food 駄菓子			
第8回	5/29	B1 U8 & B3 U	J8 Bever	ages 飲料; The	e Medit	erranean Diet			
第9回	6/5	Quiz 4; B1 U9	&B3U9 Drie	l Fruit and N	luts; DA	SH Diet & Alkaline Diet			
第10[	回 6/12	B1 U10 & B3	U10 Orga	Organic Foods 有機食品; 5-2(IF) Diet & Atkins Diet					
第11[	回 6/19	Quiz 5; B1 U1	1 & B3 U11 Huma	in Anatomy 人	体構造;]	Measuring Body Composition			
第12[	回 6/26	B1 U12 & U13	3 Diges	tive System 消	化器系	Parts 1 & 2			
第13[	回 7/3	Quiz 6; B3 U1	2 & U13 Meas	uring Body Cor	mpositior	n 体組成測定 Parts 1 & 2			
第14[	回 7/10	B1 U14 & B3	U14 The N	lervous System	神経系;	; Applying for a Job 就職活動			
第15[	回 7/17	Quiz 7, まとめ	かし 総復	13 13					
履修条	 牛	なし							
予習・彳	复習	予習 : Digi	book 音声とテキス	テキスト設問 復習:会話音声の聴き込み,専門用語学習					
テキス	F		<i>ths: Nutrition &amp; 1</i> ki, & J. Dooley (20			Book (with Digibooks App). ning .			
参考書	・参考資料等	指定しない	1.授業の中で適宜	紹介する .					
学生に対	対する評価	授業内課題	・Teams 課題(14	回)・提出物 (	30%, 7 [	回の小テスト(Quiz) 70%			

授業	英語 (保	健医療英語)	履修年次:	2 単位 30	時間	担当教員名:			
科目名	English for H	,	必修:歯科2年	コード:L		神田みなみ			
	U				AD201	(研究室 図書館棟5)			
(DP)									
〔授業の到達目標及びテーマ〕									
	1) 歯科診療・歯科衛生に関する専門用語を理解することができる.								
/						や説明ができる.			
-			で声がけができる						
 〔授業の概要〕									
非英語母語話者の歯科衛生士向けの英語テキストを用いて,専門分野の用語や会話表現を覚えるとと									
もに , ヺ	英語で適切に	声がけをして	コミュニケーション	ノを取る方法	まを学ぶ.	Book 1, Book 2, Book 3 に各 15			
ユニッ	ト(全45ユニ	ニット)の構成	で、本授業ではBa	ok1(B1) ま	Sよび Boo	k 3 (B3)の第 1~第 14 ユニット			
(U1~U1	4)の合計28:	ユニットを学習	する.						
オン	ライン版 Di	giBook で予習	(Reading, Vocabu	lary, Listenir	ɪɡ)および	「回答確認の後、英会話音声			
(Listenir	ıg) を聴き込	むこと . 隔週に	こ4 ユニット分の小	ヽテスト (Qı	uiz)を実施	施し学習内容の定着をはかる.			
キーワ・	ード: 歯科衛	生士 dental hyg	ienist,口腔衛生 o	ral hygiene,	専門英語	English for Specific Purposes			
〔授業		Γ							
回数	日付	テー							
第1回	4/10	B1 U1 & B3 U							
第2回	4/17	B1 U2 & B3 U	1 U2 & B3 U2 Work Settings 職場環境; Anesthesia 麻酔						
第3回	4/24	Quiz 1; B1 U3	& B3 U3 Denta	l Personnel	スタッフ;	Pediatric Dentistry 小児歯科			
第4回	5/1	B1 U4 & B3 U	IA In th	e Practice	診療所; G	eriatric Dentistry 老年歯科			
第5回	5/8	Quiz 2; B1 U5	& B3 U5 Dent	al Specialti	es 専門分	野; Special Needs Patients			
第6回	5/15	B1 U6 & B3 U	IG DH I	nstruments	s 器具; Cl	nronic Illness 慢性疾患			
第7回	5/22	Quiz 3; B1 U7	& B3 U7 The 1	Mouth 口腔	; Patient	Anxiety 患者の不安			
第8回	5/29	B1 U8 & B3 U	18 Tootł	n Anatomy	歯の構造	Hypersensitivity 過敏症			
第9回	6/5	Quiz 4; B1 U9	& B3 U9 Type	s of Teeth;	患者との	コミュニケーション			
第10[	回 6/12	B1 U10 & B3	U10 Oral	Health 口朋	空衛生; Vi	tal Signs バイタル			
第11[	回 6/19	Quiz 5; B1 U1	1 & B3 U11 PPE	PPE 個人防護具; Case Presentation 治療計画					
第12[	回 6/26	B1 U12 & B3	U12 Infec	Infection Control 感染制御; Process of Care 治療プロセス					
第13[	回 7/3	Quiz 6; B1 U1	3& B3 U13 Dent	al Records	カルテ; Ni	utritional Counseling 栄養指導			
第14[	回 7/10	B1 U14 & B3	U14 Patie	ent Health l	History	讈; Obtaining Licensure 資格			
第15[	回 7/17	Quiz 7, まとめ	め総復	3 3					
履修条(	4	なし							
予習・彳	复習	予習 : Digi	book 音声とテキス	、ト設問 復習	習:会話音	音声の聴き込み、専門用語学習			
テキス	F		<i>ths: Dental Hygie</i> J. Dooley, & C. Ap			k <i>(with Digibooks App).</i> ss Publishing .			
参考書	・参考資料等	指定しない	. 授業の中で適宜	紹介する.					
学生に対	対する評価	授業内課題	』・Teams 課題(14	1回)・提出	物 30%, 7	7 回の小テスト (Quiz) 70%			

授業	英語(保	健医療英語)	履修年次 必修	2単位30	)時間	担当教員名:		
科目名	(English		理、作2年	コード:		1==+X具-T. 稲垣三惠子		
	Health				0.0201	(非常勤講師室)		
(DP)		ケーション能	 カ 実践に必要	<u>+&gt;∕□=→</u>	ナ海にも	つたる探求心と自己研鑽		
			ノ 夫氏に必安	るたけ言説	土店に1	リにる休水して日口研想		
	D到達目標及		テキー ちょう ちょうしょう しょうしょう しょうしん しょうしょう しょう	如罢口必道	≖+>≭===	現を学習し、それらを実際に		
						現在子首し、 てれらを実際に 該触れる。 単に英語を覚えるだ		
けでなく、学生がより広い視野を持って将来、現場に携われるようになることを目標とする。								
〔授業の	D概要〕							
						るよう、語彙・発音・文法な		
						こめ、リスニング問題・ペアー		
						ものにするため、自己学習課		
						むための基礎力をつける。		
		の病名・症状、	病院内の英語、略	語(AEDな	よど)の理	解		
〔授業詞	1	_				<u> </u>		
回数		-						
第1回	4/8		業ガイダンス      履修の準備、受講に関する注意事項など					
第2回	4/15	Unit 1						
第3回	4/22	Unit 2			al System			
第4回	5/13	Unit 3:						
第5回	5/20	Unit 4		ratory Sy				
第6回	5/27	Unit 5		tive Syste				
第7回	6/3	Unit 6				nd Sensory System		
第8回	6/10	Unit 7		ry Systen				
第9回	6/17	Unit 8		ductive S				
第10回				crine Syst	em			
第11		Unit 10		and ALS				
第12	<b>-</b>			bilitation				
第13回		Unit 12:		and Nutri				
第14回	<b>-</b>	復習		と体を通し	にまとの			
第15回		復習		"				
履修条件	<b>+</b>	特になし						
予習・行	复習	覚えておく	べき医療関係語彙	が多いため	し、毎回の	復習で語彙量増加が必須		
テキス	<b>-</b>	0	r Healthcare Profe noue & Tadashi Ih					
参考書	・参考資料等	指定しない	1。授業の中で適宜	紹介する。				
学生に対	対する評価	授業内態度	₹20% 小テスト	20%、泀	E期試験6	0 %		

科自名         English VI (Applied English)         全学科1~4年         コード: LAD201         神田 みなみ (研究室 図書館棟5           [DP]         コミュニケーション能力, 実社会で使用するための英語能力向上を目的に,TOEIC Listening テスト問題を題材に学習する。         (研究室 の書館棟5           1)         社会へ向け,一般の英語アナウンスを聞いて,概略をつかむことができる。         )           2)         ナチュラルなスピードの英語を聞き取り,大意を理解することができる。           3)         社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる。           3)         社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の話彙・表現を理解することができる。           (授業の概要)         授業では、TOEIC Listening テキストを用いて,ナチュラルなスピードの英語に慣れ,実社会で る英語表現や語彙を学ぶ、テキストの解説により理解を深めたのち,Teams 音読の練習などの授 により、知識の定着・自動化をはかる。           キーワード: 英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション         (授業計画)           回 数         日付         テ - マ           第1回         10/1         Course Introduction         授業とTOEIC の概要説明、英語テスト           第1回         10/2         Units 1 & 2         写真描写問題, ディクテーション           第 3回         10/22         Units 3 & 4         応答問題, WH 疑問文,シャドーイング           第 4回         10/29         Mini Test 1         TOEIC Listening & Reading Test ICOINT           第 5回         11/15         Units 5 & 10         Yes/No 疑問文, 会話の概要をつかむ           第 6回         11/12         Unit 6 & 11         提案・依頼・許可の疑問文, 会話の流れを予測す           第 7回         11/19         Unit 7 & 16         「付加疑問文, トークの概要をつかむ           第 9回<	ğ 使われ
(Applied English)         (研究室 図書館棟 5           [DP] コミュニケーション能力,実践に必要な知識,生涯にわたる探究心と自己研研 [授業の到達目標及びテーマ]         実社会で使用するための英語能力向上を目的に,TOEIC Listening テスト問題を題材に学習する.           1) 社会人向け,一般の英語アナウンスを聞いて,概略をつかむことができる.         2) ナチュラルなスピードの英語を聞き取り,大意を理解することができる.           2) ナチュラルなスピードの英語を聞き取り,大意を理解することができる.         3) 社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる.           3) 社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる.         (授業の概要)           授業では,TOEIC Listening テキストを用いて,ナチュラルなスピードの英語に慣れ,実社会でる英語表現や語彙を学ぶ.テキストの解説により理解を深めたのち,Teams 音読の練習などの授により、知識の定着・自動化をはかる.           キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション           [授業計画]           回数日付テーマ         内容           第1回10/1         Course Introduction           第2回10/2         Units 1 & 2           写真描写問題,ディクテーション         第3回           10/22         Units 3 & 4           応答問題,WH疑問文,シャドーイング           第4回         10/29           Mini Test 1         TOEIC Listening & Reading Test について           第5回11/5         Units 5 & 10           Yes/No 疑問文,会話の概要をつかむ         第6回           第7回         11/19           Units 7 & 16         (付加疑問文,トークの概要をつかむ)           第9回         12/3         MinTest2	 賛  使われ
【授業の到達目標及びテーマ】         実社会で使用するための英語能力向上を目的に,TOEIC Listening テスト問題を題材に学習する.         1) 社会人向け,一般の英語アナウンスを聞いて,概略をつかむことができる.         2) ナチュラルなスピードの英語を聞き取り,大意を理解することができる.         3) 社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる.         (授業の概要)         授業では,TOEIC Listening テキストを用いて,ナチュラルなスピードの英語に慣れ,実社会で る英語表現や語彙を学ぶ.テキストの解説により理解を深めたのち,Teams 音読の練習などの授 により、知識の定着・自動化をはかる.         キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション         (授業計画)         回 数       日付 テーマ         南         第1回       10/1         Course Introduction       授業と TOEIC の概要説明、英語テスト         第2回       10/8         Units 1 & 2       写真描写問題,ディクテーション         第3回       10/22         Units 3 & 4       応答問題,WH 疑問文,シャドーイング         第4回       10/29         Mini Test 1       TOEIC Listening & Reading Test ICついて         第5回       11/2       Units 5 & 10         Yes/No 疑問文,会話の概要をつかむ       第名回の定の中示唆をく         第8回       11/26       Units 7 & 16         イリロ       11/26       ディクテーション,シャドーイング/新習	使われ
[授業の到達目標及びテーマ]         実社会で使用するための英語能力向上を目的に,TOEIC Listening テスト問題を題材に学習する.         1) 社会人向け,一般の英語アナウンスを聞いて,概略をつかむことができる.         2) ナチュラルなスピードの英語を聞き取り,大意を理解することができる.         3) 社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる.         (授業の概要)         授業では,TOEIC Listening テキストを用いて,ナチュラルなスピードの英語に慣れ,実社会で る英語表現や語彙を学ぶ.テキストの解説により理解を深めたのち,Teams 音読の練習などの授 により、知識の定着・自動化をはかる.         キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション         (授業計画)         回数日付テーマ       内容         第1回10/1 Course Introduction 第2回10/8 Units 1 & 2       写真描写問題,ディクテーション         第3回10/22 Units 3 & 4       応答問題,WH 疑問文,シャドーイング         第4回11/2 Unit 6 & 11       提案・依頼・許可の疑問文,会話の流れを予測す 第7回11/19 Unit 12 & 13         第9回12/3 Mini Test 2       ディクテーション,シャドーイング練習	
実社会で使用するための英語能力向上を目的に,TOEIC Listening テスト問題を題材に学習する.         1) 社会人向け,一般の英語アナウンスを聞いて,概略をつかむことができる.         2) ナチュラルなスピードの英語を聞き取り,大意を理解することができる.         3) 社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる.         [授業の概要]         授業では,TOEIC Listening テキストを用いて,ナチュラルなスピードの英語に慣れ,実社会で         る英語表現や語彙を学ぶ、テキストの解説により理解を深めたのち,Teams 音読の練習などの授により、知識の定着・自動化をはかる.         キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション         (授業計画)         回数日付テーマ<内容	
2) ナチュラルなスピードの英語を聞き取り,大意を理解することができる.         3) 社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる.         【授業の概要〕         授業では,TOEIC Listening テキストを用いて,ナチュラルなスピードの英語に慣れ,実社会で る英語表現や語彙を学ぶ.テキストの解説により理解を深めたのち,Teams 音読の練習などの授 により、知識の定着・自動化をはかる.         キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション         【授業計画】         回数       日付       テーマ         内容         第1回       10/1       Course Introduction         75回       10/2       Units 1 & 2         写真描写問題,ディクテーション       第4回         第3回       10/22       Units 3 & 4         第4回       10/29       Mini Test 1         TOEIC Listening & Reading Test ICついて       第5回         第6回       11/12       Unit 1 & 2         第7回       11/19       Unit 12 & 13         第7回       11/19       Unit 12 & 13         第9回       12/3       Mini Test 2	
3) 社会人として職場,実社会で頻繁に用いられる英語の語彙・表現を理解することができる.         (授業の概要)         授業では,TOEIC Listening テキストを用いて,ナチュラルなスピードの英語に慣れ,実社会で         る英語表現や語彙を学ぶ、テキストの解説により理解を深めたのち,Teams 音読の練習などの授により、知識の定着・自動化をはかる.         キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション         (授業計画)         回数       日付         夏数       日付         ワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション         (授業計画)         回数       日付         タ       育         第1回       10/1         Course Introduction       授業と TOEIC の概要説明、英語テスト         第2回       10/8       Units 1 & 2         写真描写問題,ディクテーション       第3回         第0/22       Units 3 & 4         応答問題,WH 疑問文,シャドーイング         第4回       10/29         Mini Test 1       TOEIC Listening & Reading Test について         第5回       11/5       Units 5 & 10         Yes/No 疑問文,会話の概要をつかむ       第6回         第7回       11/19       Unit 12 & 13         キーワードから推測する,発言の意図や示唆をく       第8回         第9回       12/3       Mini Test 2	
【授業の概要】         授業では,TOEIC Listening テキストを用いて,ナチュラルなスピードの英語に慣れ,実社会で         る英語表現や語彙を学ぶ.テキストの解説により理解を深めたのち,Teams 音読の練習などの授により、知識の定着・自動化をはかる.         キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション         【授業計画】         回数日付テーマ       内容         第1回10/1       Course Introduction         授業とTOEICの概要説明、英語テスト         第2回10/8       Units 1 & 2         写真描写問題,ディクテーション         第3回10/22       Units 3 & 4         応答問題,WH疑問文,シャドーイング         第4回10/29       Mini Test 1         TOEIC Listening & Reading Test について         第5回11/5       Units 5 & 10         Yes/No疑問文,会話の概要をつかむ         第6回11/26       Units 7 & 16         イリ加疑問文,トークの概要をつかむ         第9回12/3       Mini Test 2	
授業では、TOEIC Listening テキストを用いて、ナチュラルなスピードの英語に慣れ、実社会で る英語表現や語彙を学ぶ、テキストの解説により理解を深めたのち、Teams 音読の練習などの授 により、知識の定着・自動化をはかる、キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション(授業計画)回数日付テーマ回数日付テーマの容第1回10/1Course Introduction授業と TOEIC の概要説明、英語テスト第2回10/8Units 1 & 2写真描写問題、ディクテーション第3回10/22Units 3 & 4応答問題、WH 疑問文、シャドーイング第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test について第5回11/5Unit 5 & 10Yes/No 疑問文、会話の概要をつかむ第6回第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する、発言の意図や示唆をく第8回第9回12/3Mini Test 2ディクテーション、シャドーイング練習	
る英語表現や語彙を学ぶ、テキストの解説により理解を深めたのち、Teams 音読の練習などの授 により、知識の定着・自動化をはかる。キーワード:英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション(授業計画)回数日付テーマ<内容	
により、知識の定着・自動化をはかる.キーワード: 英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション(授業計画)内容回数日付テーマ<内容回数日付テーマ回数日付すーマ第1回10/1Course Introduction授業とTOEICの概要説明、英語テスト第2回10/8Units 1 & 2写真描写問題,ディクテーション第3回10/22Units 3 & 4応答問題, WH 疑問文, シャドーイング第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test について第5回11/5Units 5 & 10Yes/No 疑問文, 会話の概要をつかむ第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文, 会話の流れを予測す第7回11/19Units 7 & 16付加疑問文, トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション, シャドーイング練習	業課題
キーワード: 英語、リスニング、TOEIC、多聴、ノンフィクション回数日付テーマ内容回数日付テーマ内容第1回10/1Course Introduction援業とTOEICの概要説明、英語テスト第2回10/8Units 1 & 2写真描写問題, ディクテーション第3回10/22Units 3 & 4応答問題, WH 疑問文, シャドーイング第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test ICついて第5回11/5Units 5 & 10Yes/No 疑問文, 会話の概要をつかむ第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文, 会話の流れを予測す第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する,発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16ゲィクテーション, シャドーイング練習第9回12/3Mini Test 2ディクテーション, シャドーイング	
[授業計画]回数日付テーマ内容第1回10/1Course Introduction援業とTOEICの概要説明、英語テスト第2回10/8Units 1 & 2写真描写問題,ディクテーション第3回10/22Units 3 & 4応答問題,WH 疑問文,シャドーイング第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test について第5回11/5Units 5 & 10第6回11/12Unit 6 & 11第7回11/19Unit 12 & 13第7回11/26Units 7 & 16第9回12/3Mini Test 2第10第10第10第10第10第11/26第11/26Units 7 & 16第11/26Mini Test 2第11/27第12/3第11/28第11/26第11/26Mini Test 2第11/26Mini Test 2第11/27Mini Test 2第11/28第11/26第11/26Mini Test 2第11/26Mini Test 2第11/27Mini Test 2第11/28第11/26第11/2712/3第11/28第11/27第11/28第11/27第11/28第11/27第11/28第11/27第11/28第11/27第11/28第11/27第11/28第11/27第11/2712/3第11/28第11/27第11/28第11/27第11/28第11/2812/3第11/28第11/27第11/28第11/28第11/28第11/28第11/28第11/28第11/28第11/28第11/28第11/28第11/28<	
回数日付テーマ内容第1回10/1Course Introduction授業とTOEICの概要説明、英語テスト第2回10/8Units 1 & 2写真描写問題,ディクテーション第3回10/22Units 3 & 4応答問題,WH疑問文,シャドーイング第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test について第5回11/5Units 5 & 10Yes/No 疑問文,会話の概要をつかむ第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文,会話の流れを予測す第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する,発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文,トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション,シャドーイング練習	
第1回10/1Course Introduction授業とTOEICの概要説明、英語テスト第2回10/8Units 1 & 2写真描写問題,ディクテーション第3回10/22Units 3 & 4応答問題,WH 疑問文,シャドーイング第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test について第5回11/5Units 5 & 10Yes/No 疑問文,会話の概要をつかむ第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文,会話の流れを予測す第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する,発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文,トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション,シャドーイング練習	
第2回10/8Units 1 & 2写真描写問題, ディクテーション第3回10/22Units 3 & 4応答問題, WH 疑問文, シャドーイング第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test について第5回11/5Units 5 & 10Yes/No 疑問文, 会話の概要をつかむ第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文, 会話の流れを予測す第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する, 発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文, トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション, シャドーイング練習	
第3回10/22Units 3 & 4応答問題,WH 疑問文,シャドーイング第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test について第5回11/5Units 5 & 10Yes/No 疑問文,会話の概要をつかむ第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文,会話の流れを予測す第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する,発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文,トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション,シャドーイング練習	
第4回10/29Mini Test 1TOEIC Listening & Reading Test について第5回11/5Units 5 & 10Yes/No 疑問文, 会話の概要をつかむ第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文, 会話の流れを予測す第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する, 発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文, トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション, シャドーイング練習	
第5回11/5Units 5 & 10Yes/No 疑問文,会話の概要をつかむ第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文,会話の流れを予測す第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する,発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文,トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション,シャドーイング練習	
第6回11/12Unit 6 & 11提案・依頼・許可の疑問文,会話の流れを予測す第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する,発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文,トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション,シャドーイング練習	
第7回11/19Unit 12 & 13キーワードから推測する ,発言の意図や示唆をく第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文 , トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション , シャドーイング練習	
第8回11/26Units 7 & 16付加疑問文 , トークの概要をつかむ第9回12/3Mini Test 2ディクテーション , シャドーイング練習	3
第9回 12/3 Mini Test 2 ディクテーション,シャドーイング練習	み取る
第10回 12/10 Unites 8 & 17 否定疑問文,トークの詳細をつかむ	
第11回 12/17 Units 9 & 14 平叙文, 3人の会話を聞き取る	
第12回 1/7 Mini Tests 3 & 4 ディクテーション , シャドーイング練習	
第13回 1/14 Units 15 & 18 図表と関連付けて聞く,トークの展開を予測する	,
第14回 1/21 Units 19 & 20 話者の発言をくみ取る,図表と関連付けて聞く	
第15回 1/28 まとめ 総復習	
履修条件なし	
予習・復習 予習: CD 聞き込み・解説 復習: Teams 音読の練習・シャドーイング	
『公式 TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編』国際ビ	
フェスト コミュニケーション協会 3,300円(税込)	ジネス
参考書・参考資料等 指定しない.授業の中で適宜紹介する.	ジネス
学生に対する評価 授業課題 (Teams 課題, 提出物など) 60%, 最終テスト 40%	ジネス

授業	茶気がしく	上級英語)A	履修年次:		1 畄仏	15時間	担当教員名:		
和目名	English VII	山叙光市)A	履修牛人. 選択:全学科	12~1 年			担当教員石。 神田 みなみ		
1700	(Advanced H	English) A	送バ・主手作	12 44		ະ: LAD203	(研究室 図書館棟5)		
	(Auvaliceu I	Anglish) A							
[DP]	〔DP〕IIコミュニケーション能力,III 実践に必要な知識,VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽								
	〔授業の到達目標及びテーマ〕								
		)講義・プレセ					•		
							集めることができる。		
・簡潔	・簡潔で明瞭な英語を用いて、保健医療職についてのプレゼンテーションを行う。								
〔授業の	〔授業の概要〕								
保健	医療現場での	)英語コミュニ	ケーションプ	」向上を目	指して	, 以下を行う	) _o		
1)1	保健医療分野	予の英語のレク	フチャーやプ	レゼンテー	・ション	動画を聞き取	13.		
2)1	保健医療分野	の専門英語・	専門表現を	学習する。					
							て、保健医療職についての		
							)英語を目指す。 授業時間内		
		§正 , 発音確認							
キーワー	キーワード:保健医療、英語、ヘルス・リテラシー、English for Specific Purposes								
〔授業詞	〔授業計画〕								
回数	日付	テ・	- <b>र</b>	内容					
第1回	10/4	ガイダンス		保健医療分野の英語情報について、授業概要					
第2回	10/11	身体・疾病	体・疾病について Health and Illness						
윤 스 미	10/11	保健医療職	こついて	Healthcar	re Profes	sionals			
第3回	10/18	栄養と運動	こついて	Nutrition	and Exe	rcise			
第4回	10/25	歯・口腔の優	康について	Teeth and	l Oral Hy	ygiene			
第5回	11/1	リハビリテ ついて	ーションに	Rehabilit	ation				
第6回	11/8	保健医療職	こついて(1)	Healthca	re Profes	sionals			
第7回	11/15	保健医療職	こついて(2)	Healthcar	re Profes	sionals			
第8回	11/22	まとめ	まとめ Presentation 最終プロジェクト						
履修条件	履修条件 「英語I、II、III、IV、またはVI」の選択2単位を修得済みであること。					得済みであること。			
予習・復習 保健医療分野の MOOC または YouTube の動画を見て、語彙・表現を学習す					て、語彙・表現を学習する				
テキス	<u></u>	指定しな	い、必要なレ	ジュメを	<b></b> 司意する				
参考書	・参考資料等	第 指定しな	い。授業の中	で適宜紹知	介する。				
学生に対	付する評価		度(15%) 授 に評価する。				) 最終プロジェクト(55%)		

授業	英語VII(上	級英語)B 履修年	E ነ⁄ታ.		1単位15時	88	担当教員名:	
科目名	English VII	-		42~4年			1231 2010 神田 みなみ	
1700	(Advanced E		土于个	12 44	コード: LAD	0204	(研究室 図書館棟5)	
	(Auvaliceu E	Inglish) A					(例九主 凶首昭休3)	
〔DP〕IIコミュニケーション能力, III 実践に必要な知識、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽								
〔授業の到達目標及びテーマ〕								
	・保健医療分野の英語資料を読んで、概略を理解できる。							
	・保健医療従事者として役に立つ英語情報を得る。英語を介して、情報を集めることができる。							
・各国	・各自が専攻する保健医療職についての英語情報の内容を簡潔に日本語でまとめることができる。							
〔授業の	の概要〕							
			-				Q集をめざし学習を行う。 学	
生各自《	の専攻分野や	関心に応じて、実際	にその	)英語知識	を活用するア	クティ	・ビティや課題を行う。	
-		英国 NHS など英語に			情報を読む。			
· ·		の専門英語・専門表						
		)で使えるオンライン					· · · · · · · · · · · · · · · ·	
	キーワード:保健医療、英語、ヘルス・リテラシー、English for Specific Purposes							
〔授業計画〕								
回数	日付	テーマ	テーマ     内容					
第1回	11/22	ガイダンス	ゴイダンス 保健医療分野の英語情報について、授業概要					
第2回	11/29	身体・疾病について	身体・疾病について Health and Illness					
	11/27	保健医療職について	ζ	Healthc	are Professio	nals		
第3回	12/6	栄養と運動について	ζ	Nutritio	n and Exerci	se		
第4回	12/13	歯・口腔の健康につ	いて	Teeth ar	nd Oral Hygie	ene, 第	育1回レポート提出	
第5回	12/20	リハビリテーショ ついて	ンに	Rehabil	itation,			
	1/10		<del>7</del> (1)	TT 1.1				
第6回	1/10	保健医療職につい	C(I)	Healthc	are Professio	nais		
第7回	1/24	保健医療職につい	C(2)	Healthc	are Professio	nals		
第8回	回 1/31 まとめ			保健医療分野の英語情報,第2回レポート提出				
履修条(	4	「英語I、II、III、	IV,	またはVI」の選択2単位を修得済みであること。				
予習・	复習	保健医療分野の語	語彙・	表現を学る	表現を学習する。			
テキス	F	指定しない、必要	要なレ	ジュメを	用意する。			
参考書	・参考資料等	指定しない。授	業の中	で適宜紹知	介する。			
学生に対	対する評価	授業参加度(15) を総合的に評価で				夏(30	%) レポート2回(55%)	